

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジンセイシンジョシガクイン 学校法人 聖心女子学院								
フリガナ大学の名称	セイシンジョシダイガク 聖心女子大学 (The University of the Sacred Heart, Tokyo)								
大学本部の位置	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号								
大学の目的	19世紀初頭のフランスで、聖心女子学院が創立された際の教育理念である「一人一人の人間をかけがえのない存在として愛するキリストの聖心(みこころ)に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを深める」をもとに、本学では「知性を磨く」、「使命感を自覚する」、「発信力、実践力を高める」という3つの教育目標を定め、これらの資質を持つ人材の養成を目指している。								
新設学部等の目的	本学教育学科初等教育学専攻の卒業生は、使命感・責任感にすぐれた小学校・幼稚園教諭として、豊富な就職実績と高い社会的評価を受けている。また、1年次の基礎課程から、2年次での学科専攻への進路決定を行うなかで、初等教育学専攻を希望する学生数は、近年増加の傾向が顕著である。そこで、初等教員養成への社会的要請と学生の志望に応えるため、教育内容の質を充分維持したうえで、収容定員増を行いたい。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	文学部	年	人	年次人	人		年 月 第 年次		
	英語英文学科	4	90	2年次 6	378	学士(英語英文学)	平成19年4月 1年次 平成20年4月 2年次	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号	
	日本語日文学科	4	45	2年次 6	198	学士(日本語日文学)	平成3年4月 1年次 平成13年4月 2年次	同上	
	史学科	4	55 (0)	2年次 2 (0)	226 (0)	学士(史学)	平成26年4月 第1年次 平成27年4月 第2年次	同上	平成25年6月届出予定
	人間関係学科	4	55 (0)	2年次 2 (0)	226 (0)	学士(人間関係)	平成26年4月 第1年次 平成27年4月 第2年次	同上	平成25年6月届出予定
	国際交流学科	4	60 (0)	2年次 2 (0)	246 (0)	学士(国際交流)	平成26年4月 第1年次 平成27年4月 第2年次	同上	平成25年6月届出予定
	哲学科	4	40	2年次 4	172	学士(哲学)	昭和23年4月 1年次 平成13年4月 2年次	同上	
	教育学科 教育学専攻	4	25 (85)	2年次 4 (8)	112 (364)	学士(教育学)	平成26年4月 1年次 平成27年4月 2年次	同上	
教育学科 初等教育学専攻	4	40 (20)	—	160 (80)	学士(初等教育学)	平成26年4月 1年次	同上		
心理学科	4	55 (0)	2年次 4 (0)	232 (0)	学士(心理学)	平成26年4月 第1年次 平成27年4月 第2年次	同上	平成25年6月届出予定	

	歴史社会学科	4	0 (170)	2年次 0 (6)	0 (698)	学士(史学) 学士(人間関係) 学士(国際交流)	平成26年4月 1年次 平成27年4月 2年次	同上	※平成26年度より学生募集停止予定	
	計		465 (450)	30 (30)	1950 (1890)					
	同一設置者内における変更状況(定員の移行, 名称の変更等)	聖心女子大学 文学部歴史社会学科(廃止)(△170)(2年次編入学定員)(△6) ※平成26年4月学生募集停止(2年次編入学定員は平成27年4月学生募集停止) 文学部史学科(新設)(55)(平成25年6月届出予定) 文学部人間関係学科(新設)(55)(平成25年6月届出予定) 文学部国際交流学科(新設)(60)(平成25年6月届出予定) 文学部心理学科(新設)(55)(平成25年6月届出予定) 文学部教育学科内の専攻名称の学則変更予定 (教育・心理学専攻から教育学専攻に変更)(平成26年4月変更予定)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教員組織の概要	新設	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	兼任教員の計には、各学科の重複者は算入していない。
				教授	准教授	講師	助教	計	助手	
		文学部 英語英文学科	7人 (7)	0人 (0)	3人 (3)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	45人 (45)	
		日本語日本文学科	6人 (6)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	7人 (7)	0 (0)	29人 (29)	
		史学科	6人 (6)	2人 (2)	1人 (1)	0人 (0)	9人 (9)	0 (0)	36人 (36)	
		人間関係学科	5人 (5)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	7人 (7)	0 (0)	40人 (40)	
		国際交流学科	6人 (6)	3人 (3)	2人 (2)	0人 (0)	11人 (11)	0 (0)	55人 (55)	
		哲学科	4人 (4)	2人 (2)	1人 (1)	0人 (0)	7人 (7)	0 (0)	31人 (31)	
		教育学科 教育学専攻 初等教育学専攻	8人 (8)	1人 (1)	3人 (3)	0人 (0)	12人 (12)	0 (0)	67人 (57)	
		心理学科	4人 (4)	1人 (1)	2人 (2)	0人 (0)	7人 (7)	0 (0)	29人 (29)	
		総合現代教養科目	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0 (0)	32人 (32)	
		計	46 (46)	12 (12)	12 (12)	0 (0)	70 (70)	0 (0)	364人 (364)	
既設分	該当なし	—	—	—	—	—	—	—		
	計	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
合計		46 (46)	12 (12)	12 (12)	0 (0)	70 (70)	0 (0)	364人 (364)		
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計			
	事務職員		59人 (59)		146人 (146)		205人 (205)			
	技術職員		1人 (1)		0人 (0)		1人 (1)			
	図書館専門職員		0人 (0)		0人 (0)		0人 (0)			
	その他の職員		1人 (1)		0人 (0)		1人 (1)			
計			61人 (61)		146人 (146)		207人 (207)			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 4, 201㎡ 借用期間： 期間なし				
	校舎敷地	44,753㎡	— ㎡	— ㎡	44,753㎡					
	運動場用地	4,424㎡	— ㎡	— ㎡	4,424㎡					
	小 計	49,177㎡	— ㎡	— ㎡	49,177㎡					
	そ の 他	34,640㎡	— ㎡	— ㎡	34,640㎡					
合 計	83,817㎡	— ㎡	— ㎡	83,817㎡						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
		25,446㎡ (25,446㎡)	— ㎡ (㎡)	— ㎡ (㎡)	25,446㎡ (25,446㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	37室	20室	21室	11室 (補助職員 9人)	1室 (補助職員 1人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		大学全体			84 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	403,223 [125,245] (377,718 [122,136])	8,123 [2,954] (7,296 [2,863])	23,010 [22,470] (18,822 [18,822])	10,440 (10,262)	208 (187)	0 (0)			
	計	403,223 [125,245] (377,718 [122,136])	8,123 [2,954] (7,296 [2,863])	23,010 [22,470] (18,822 [18,822])	10,440 (10,262)	208 (187)	0 (0)			
図書館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数			大学全体			
		3,963㎡	347	517,389						
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
		1,442㎡	テニスコート 5 面							
経費の 見及び 維持 方法の 概要	経費の 見 積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書購入費には 電子ジャーナル・ データベースの 整備費（運用 コスト含む） を含む。
		教員1人当り研究費等		440千円	440千円	440千円	440千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		5,300千円	5,300千円	5,300千円	5,300千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	60,000千円	60,000千円	60,000千円	60,000千円	60,000千円	— 千円	— 千円	
		設備購入費	17,000千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,385千円	970千円	970千円	990千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入等								
大 学 の 名 称		聖心女子大学								
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	入学時は文学部 としての一括募 集。2年次進級 時に学則定員に 従い按分して学 科別に収容す る。 平成26年度より 学生募集停止予 定
文学部		年	人	年次 人	人		倍			
英語英文学科		4	90	2年次 6	378	学士（英語英 文学）	1.17	平成19年度	東京都渋谷区広尾4 丁目3番1号	
日本語日文学科		4	45	2年次 6	198	学士（日本語 日文学）	1.15	平成30年度	同上	
歴史社会学科		4	40	2年次 6	698	学士（史学） 学士（人間関 係） 学士（国際交 流）	1.16	昭和23年度	同上	
哲学科		4	40	2年次 4	172	学士（哲学）	1.17	昭和23年度	同上	

既設 大学等 の 状 況	教育学科 教育・心理学専攻	4	85	2年次 8	364	学士（教育学） 学士（心理学）	1.16	昭和32年度	同上	平成26年4月から教育・心理学専攻から教育学専攻に変更予定、 入学定員を85→25（△60）に変更、 編入学定員を2年次8→4（△4）に変更予定 平成26年4月から入学定員を20→40（20）に変更予定	
	教育学科 初等教育学専攻	4	20	—	80	学士（初等教育学）	1.12	昭和32年度	同上		
	大学院										
	文学研究科 英語英文学専攻	2	10	—	20	修士（英語英文学）	0.20	平成16年度	東京都渋谷区広尾 4丁目3番1号		
	（ 修 士 課 程 ）	日本語日本文学専攻	2	5	—	10	修士（日本語日本文学）	0.40	平成16年度	同上	
		史学専攻	2	5	—	10	修士（史学）	0.40	昭和27年度	同上	
		哲学専攻	2	6	—	12	修士（哲学）	0.58	平成11年度	同上	
	（ 博 士 前 期 課 程 ）	文学研究科 社会文化学専攻	2	6	—	12	修士（社会文化学）	0.33	平成16年度	東京都渋谷区広尾 4丁目3番1号	
		人間科学専攻	2	12	—	24	修士（人間科学） 修士（心理学）	0.62	平成7年度	同上	
	（ 博 士 後 期 課 程 ）	文学研究科 社会文化学専攻	3	2	—	6	博士（社会文化学）	0.16	平成18年度	東京都渋谷区広尾 4丁目3番1号	
		人文学専攻	3	4	—	12	博士（文学）	0.41	平成13年度	同上	
		人間科学専攻	3	2	—	6	博士（人間科学） 博士（心理学）	0.33	平成9年度	同上	
	附属施設の概要	該当なし									

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

都道府県内における位置関係の図面

東京都渋谷区広尾4丁目3番1号
聖心女子大学



聖心女子大学 アクセスマップ



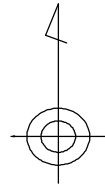
所要時間等は目安です。実際にご来学の節は、ご自分で各交通機関にお問い合わせください。

周辺案内図

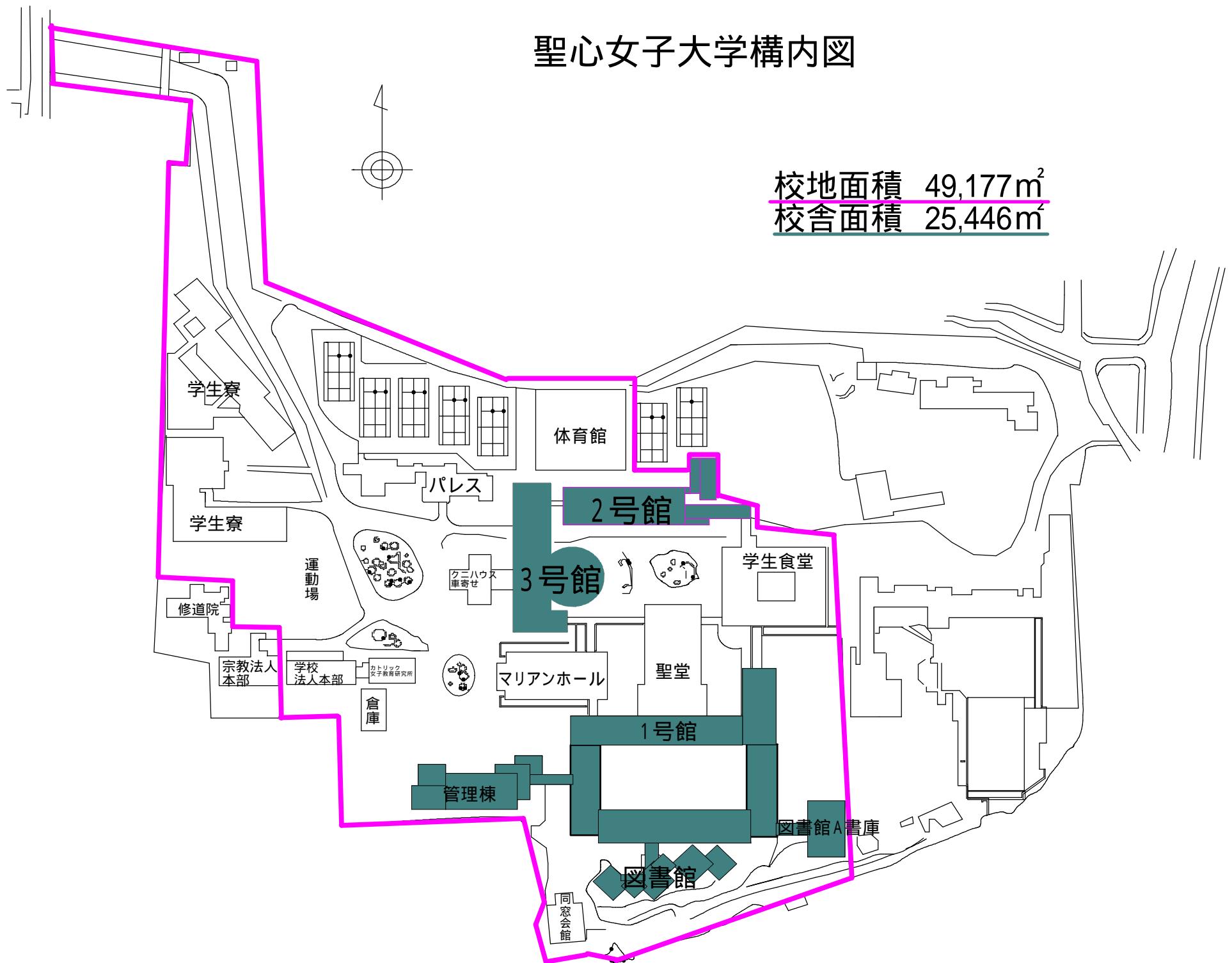


- 東京メトロ日比谷線「広尾駅」
(2番「天現寺橋(聖心女子大学)方面」出口)下車
広尾商店街(散歩通り)を通り 約3分
- JR渋谷駅東口または恵比寿駅より都バス
「日赤医療センター前」行 終点「日赤医療センター前」下車 約3分
- JR品川駅より都バス「新宿駅西口」行
「広尾橋」下車 約4分
- JR目黒駅より都バス「千駄ヶ谷駅」、「新橋駅」行
「広尾橋」下車 約4分

聖心女子大学構内図



校地面積 49,177m²
校舎面積 25,446m²



聖心女子大学学則

第1章 目的

第1条 本学は、キリストの精神にもとづき、女子に高度の教養を授けるとともに、専門の学術を、教授研究し、豊かな見識とすぐれた人格をもって、社会と文化の発展に寄与する人物を育成することを目的とする。

第1章の2 自己点検・評価

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、本学の教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価（以下「自己点検・評価」という。）を行うものとする。

2 本学の自己点検・評価については、別に定める。

第2章 組織

第2条 本学に、文学部を置く。

文学部に、次の学科を置く。

英語英文学科、日本語日本文学科、史学科、人間関係学科、国際交流学科、哲学科、教育学科（教育学専攻、初等教育学専攻）、心理学科

第3条 文学部の収容定員は、次のとおりとする。

	入学定員	2年次編入学定員	収容定員
英語英文学科	90名	6名	378名
日本語日本文学科	45名	6名	198名
史学科	55名	2名	226名
人間関係学科	55名	2名	226名
国際交流学科	60名	2名	246名
哲学科	40名	4名	172名
教育学科	教育学専攻	4名	112名
	初等教育学専攻	---	160名
心理学科	55名	4名	232名
合計	465名	30名	1,950名

第4条 本学に、大学院を置く。

大学院の学則は、別に定める。

第5条 本学に、キリスト教文化研究所を置く。

キリスト教文化研究所に関する規則は、別に定める。

第5条の2 本学に、心理教育相談所を置く。

心理教育相談所に関する規則は、別に定める。

第6条 本学に、図書館を置く。

図書館に関する規則は、別に定める。

第7条 本学に、学寮を置く。

学寮に関する規則は、別に定める。

第8条 本学に、事務組織を置く。

事務組織に関する規則は、別に定める。

第8条の2 第2条から第8条までに定める組織のほか、本学に次の組織を置くことができる。

(1) センター

(2) その他、第9条に規定する学長が特に必要と認める組織

2 前項の組織に関する規則は、別に定める。

第3章 職員組織

第9条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助手、並びに事務職員その他必要な職員を置く。

本学に必要な応じ、学部長を置くことができる。

学長の選出については、別に定める。

第4章 教授会

第10条 本学に、教授会を置く。

教授会は、学長、専任の教授、准教授並びに講師をもって組織する。

2 教授会は、次の事項を審議する。

(1) 教育、研究及び授業に関する事項

(2) 教育課程に関する事項

(3) 学生の入学、編入学、転入学、再入学、学士入学、休学、復学、留学、転学及び退学に関する事項

(4) 科目等履修生、研究生及び外国人留学生に関する事項

(5) 学生の単位認定及び卒業に関する事項

(6) 学生の賞罰に関する事項

(7) 学生の厚生補導に関する事項

(8) 教員の人事に関する事項

(9) 教授会の設置する委員会に関する事項

(10) 学則その他諸規則に関する事項

(11) 学長の諮問する事項

(12) その他教授会の必要と認める事項

3 教授会の運営に関する規則は、別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

第11条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第12条 学年は、次の2期に分ける。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第13条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する日
- (3) 本学創立記念日（5月4日）
- (4) 夏期休業 7月21日から9月25日まで
- (5) 冬期休業 12月21日から翌年1月5日まで
- (6) 春期休業 3月16日から3月31日まで

必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第6章 修業年限及び在学年限

第14条 文学部の修業年限は、4年とする。

第15条 在学年限は、8年を超えることができない。ただし、第21条第1項及び第2項の規定により入学した者は、同条第3項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第7章 入学、編入学、転入学、再入学、学士入学及び転科

第16条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の必要がある場合は、第12条に規定する後期の始めを入学の時期とすることができる。

第17条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者、又は文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第18条 本学に入学を志願する者は、入学願書その他別に定める書類に所定の入学検定料を添えて、所定の期日内に願出しなければならない。

第19条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

第20条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書その他別に定める書類を提出するとともに、所定の学費を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に対し入学を許可する。

第21条 本学に編入学、転入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより、選考の上、相当年次への入学を許可することがある。ただし、転入学については、欠員のある場合に限る。

2 本学を退学した後に再入学を、また本学を卒業した後に学士入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより、選考の上、相当年次への入学を許可することがある。

3 第1項及び第2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び修得した単位の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学長が決定する。

第22条 転科を願い出た者には、事情を考慮した上でこれを許可することがある。

2 転科に関する規則は、別に定める。

第8章 教育課程及び履修方法

第23条 本学の授業科目は、全学必修科目、総合現代教養科目、基礎課程科目及び専攻課程科目とする。

第24条 本学において開設する授業科目の名称及び単位数は、別表第1に定めるとおりとする。

第25条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。

第26条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分けて、編成するものとする。

第27条 学生は、在学中に別表第1に掲げた授業科目の中から、次のように単位を修得するとともに最終年次に卒業論文を提出し、その審査に合格しなければならない。卒業に要する総単位数は132単位とする。

(1) 全学必修科目は、26単位以上を修得しなければならない。

(2) 専攻課程科目、総合現代教養科目、基礎課程科目の履修及び各自の所属する専攻コースの卒業要件となる単位数等については、別に定める履修要項によるものとする。

(3) 卒業論文の合格は8単位の修得とする。

2 教育職員免許法に定める教員免許状並びに博物館法に定める学芸員の資格を取得しようとする者は、それぞれ法定基準の定めるところにより、必要な専門科目等を修得しなければならない。なお、本学において取得できる教員免許状並びにその免許教科の種類等は、別表第2のとおりである。

3 単位取得の認定は、試験（論文、報告等を含む。）、平常の成績及び出席状況等を総合して決定する。なお、これらの細目については、別に定める履修要項によるものとする。

4 試験及び卒業論文の成績は、AA、A、B、C、Fの5段階とし、C以上を合格とする。

5 病気又は正当な理由により試験を受けることができなかつた者に対しては、願い出により追試験を行うことがある。

6 合格点を取得できなかつた者に対しては、卒業年次に限り願い出により再試験を行うことがある。

第27条の2 本学に日本語教員課程を置く。

- 2 日本語教員課程を修了しようとする者は、別に定める履修要項により、課程の修了に必要な授業科目の単位を修得しなければならない。
- 3 日本語教員課程を修了した者には、卒業時に日本語教員課程修了証を授与する。

第27条の3 本学に次の副専攻コースを置く。

- (1) 各専攻コースが開設する副専攻コース
- (2) 学科横断的に開設される副専攻コース

- 2 副専攻コースを修了しようとする者は、別に定める履修要項により、各コースの修了に必要な授業科目の単位を修得しなければならない。
- 3 副専攻コースを修了した者には、卒業時に副専攻修了証を授与する。

第28条 教育上有益と認めるときは、学生が本学と協定のある又は認定する他大学の授業科目を履修することを認めることがある。

- 2 前項の規定により学生が履修し、修得した単位は、教授会の議を経て30単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位として認定することができる。

第9章 休学、復学、留学、転学及び退学

第29条 病気その他やむを得ない理由により休学を希望する者は、所定の様式による休学願を提出し、学長の許可を得なければならない。休学の時期は、前期中に休学を願い出た者については後期から、後期中に休学を願い出た者については次の年度の前期からの休学が認められる。

- 2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、休学を命ずることがある。

第30条 休学期間は、1年又は半年とする。ただし、特別の事情がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学期間は、在学期間に算入しない。

第31条 休学中の者が復学を希望するときは、所定の様式による復学願を提出し、学長の許可を得なければならない。復学の時期は、前期中に復学を願い出た者については後期から、後期中に復学を願い出た者については次の年度の前期からの復学が認められる。

第32条 外国の大学に留学しようとする者は、所定の手続きを経て教授会の承認を得なければならない。

- 2 留学に関する規則は、別に定める。

第33条 他の大学への転学を希望する者は、所定の様式による退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

第34条 退学を希望する者は、所定の様式による退学願を提出し、学長の許可を得なければならない。退学の時期は、原則として前期末又は学年末とする。

第35条 次の各号の1に該当する者について学長は、前条に定める退学願の提出を待たず、教授会の議を経て、退学させることができる。

- (1) 第15条に定める在学年限を超えた者

(2) 第30条第2項に定める休学期間に達しても、なお修学できない者

(3) 授業料等の納付を怠り、督促を受けても、なお納付しない者

2 第1項第3号により退学を命じられた者が、再入学を希望するときは、滞納授業料等を納付することにより再入学を志願することができる。

第10章 卒業の認定並びに学士の学位の授与

第36条 本学に、4年（第21条第1項及び第2項の規定により入学した者については、同条第3項により定められた在学すべき年数）以上在学し、所定の授業科目の履修並びに単位数を取得し、かつ卒業論文の審査に合格した者に対し、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対し、学士の学位を授与する。

第37条 削除

第11章 学生納付金

第38条 本学の授業料、施設設備費、諸費及び特別費（以下「授業料等」という。）並びに入学金については、別表第3に定めるとおりとする。

第39条 授業料等は、年額を所定の期間に納付するものとする。ただし、第12条に規定する前期及び後期の2期に分けてそれぞれの所定の期間に納付することもできる。この場合の各期の納付金額は年額の2分の1とする。

第40条 休学期間中については、その学期に対応する授業料等の2分の1を納付するものとする。納付の時期は第39条に準ずる。

第41条 削除

第42条 停学期間中の授業料等は、これを徴収する。

第43条 やむを得ない事情があると認められた者に対し、授業料等の全部もしくは、一部を免除することがある。

第44条 科目等履修生及び研究生の検定料、科目等履修料、研究料については、別に定める。

第45条 既納の授業料等は、原則として返付しない。ただし、前期中の退学が許可された場合に限り、年額の2分の1を減額する。

第46条 学生は、在学中に学生納付金に変更があった場合には、新たに定められた金額を納付するものとする。

第47条 本章に規定するもののほか、学生納付金に関する事項は、別に定める規則によるものとする。

第12章 科目等履修生、研究生及び外国人留学生

第48条 本学の授業科目のうち一又は数科目を選んで科目履修を志願する者があるときは、一般の授業及び研究に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することがある。

第49条 本学において特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、一般の授業及び研究に支障のない場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

2 研究生を志望できる者は、大学を卒業した者、又は、これと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究生の許可は、学年始めに行うものとし、その研究期間は1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

第50条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

第51条 科目等履修生、研究生、外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第13章 奨学生制度

第52条 本学に、奨学金による奨学生制度を置く。

奨学生の種別、員数、その選考等については、別に定める。

第14章 賞罰

第53条 本学学生にして特に表彰に価する行為をした者に対し、学長は、教授会の議を経て表彰することができる。

第54条 本学の教育方針に背き、本学の規則に違反し、又は、学生としての本分に反する行為をした者に対し、学長は、教授会の議を経て懲戒する。

2 前項の懲戒の種別は、退学、停学並びに訓告とする。なお、停学期間は、第15条及び第36条の在学期間には算入しない。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者

(2) 正当な理由がなくて出席常でない者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第15章 公開講座、各種講習会

第55条 本学には、公開講座並びに各種講習会を開設することができる。

附 則

この学則は、昭和23年4月1日から施行する。

この学則は、昭和26年4月1日から施行する。

この学則は、昭和32年4月1日から施行する。

この学則は、昭和41年4月1日から施行する。

この学則は、昭和48年9月20日から施行する。

この学則は、昭和49年2月25日から施行する。

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

この学則は、昭和55年8月1日から施行する。

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。
(従前の高等学校社会一種免許状の経過措置)
- 2 平成2年3月31日の在籍者及びこの附則施行日以降の聴講生は、改正後の別表第2の規定にかかわらず、高等学校社会一種免許状については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
(文学部国語国文学科の存続に関する経過措置)
- 2 文学部国語国文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成3年3月31日に当該学科に在籍する者が、当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成4年2月1日から施行する。
この学則は、平成4年4月1日から施行する。
この学則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、平成5年3月31日に在籍する者は、単位修得に関する改正規定にかかわらず、なお従前の規定を適用する。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。
この学則は、平成7年4月1日から施行する。
この学則は、平成7年6月20日から施行し、平成7年4月1日から適用する。
この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。
この学則は、平成10年4月1日から施行する。
この学則は、平成11年4月1日から施行する。
この学則は、平成12年3月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年6月11日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、平成18年3月31日に在籍する者については、改正後の第27条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成18年11月21日から施行し、平成18年10月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、別表第1及び別表第2の規定は、この学則の施行日以後に第1年次に入学する者について、平成20年4月1日から適用する。
- 3 前項の規定は、適用日以後に、第2年次に転科、編入学及び再入学した者について準用する。
- 4 施行日の前日までに入学した者及び適用日の前日において外国語外国文学科に在籍する者については、なお従前の規定により、外国語外国文学科は、当該学科に在籍する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年5月19日から施行し、平成21年4月1日から適用する。
- 2 改正後の第27条第4項の規定は、平成15年4月1日以後に在籍する者（同日以後に在籍していた者を含む。）について適用し、平成15年3月31日以前に在籍しなくなった者については、同規定にかかわらず、なお従前の例（「秀、優、良、可、不可」の表記）による。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年3月31日に在籍する者ならびに平成24年4月1日に2年次に編入学する者については、改正後の第23条および第27条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年1月15日）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年2月5日）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年4月9日）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 前項による改正後の第2条、第3条及び別表第1の規定は、平成26年4月1日以後に第1年次に入学する者について適用する。
- 3 前項の規定は、平成27年4月1日以後に、次のとおり第2年次以上の年次に編入学又は再入学した者について準用する。
 - 第2年次 平成27年4月1日以後
 - 第3年次 平成28年4月1日以後
 - 第4年次 平成29年4月1日以後
- 4 平成26年3月31日において第1年次に在籍する者については、なお従前の規定による。
- 5 平成26年3月31日において歴史社会学科に在籍する者については、なお従前の規定による。平成26年4月1日から募集を停止する歴史社会学科は、当該学科に在籍する者の卒業（退学を含む。）を待って廃止する。
- 6 平成26年3月31日において教育学科教育・心理学専攻に在籍する者については、なお従前の規定による。
- 7 改正後の第3条の規定にかかわらず、平成26年度から平成28年度までの各学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
英語英文学科	90	6	378	90	6	378	90	6	378
日本語日本文学科	45	6	198	45	6	198	45	6	198
哲学科	40	4	172	40	4	172	40	4	172
歴史社会学科	-	6	528	-	-	352	-	-	176
教育学科 教育・心理学専攻	-	8	279	-	-	186	-	-	93
教育学科 初等教育学専攻	40	-	100	40	-	120	40	-	140
教育学科 教育学専攻	25	-	25	25	4	54	25	4	83
史学科	55	-	55	55	2	112	55	2	169
人間関係学科	55	-	55	55	2	112	55	2	169
国際交流学科	60	-	60	60	2	122	60	2	184
心理学科	55	-	55	55	4	114	55	4	173
合 計	465	30	1905	465	30	1920	465	30	1935

別表第 1

1. 全学必修科目

授 業 科 目	単 位	週 時
キリスト教学Ⅰ－1	4	2
キリスト教学Ⅰ－2	4	2
キリスト教学Ⅰ－3	4	2
キリスト教学Ⅰ－4	4	2
キリスト教学Ⅰ－5	4	2
キリスト教学Ⅰ－6	4	2
キリスト教学Ⅰ－7	4	2
キリスト教学Ⅰ－8	4	2
キリスト教学Ⅰ－9	4	2
キリスト教学Ⅰ－10	4	2
キリスト教学Ⅰ－11	4	2
キリスト教学Ⅰ－12	4	2
キリスト教学Ⅰ－13	4	2
キリスト教学Ⅱ－1	4	2
キリスト教学Ⅱ－2	4	2
キリスト教学Ⅱ－3	4	2
キリスト教学Ⅱ－4	4	2
キリスト教学Ⅱ－5	4	2
キリスト教学Ⅱ－6	4	2
キリスト教学Ⅱ－7	4	2
キリスト教学Ⅱ－8	4	2
キリスト教学Ⅱ－9	4	2
キリスト教学Ⅱ－10	4	2
キリスト教学Ⅱ－11	4	2
キリスト教学Ⅱ－12	4	2
キリスト教学Ⅱ－13	4	2
キリスト教学Ⅱ－14	4	2
キリスト教学Ⅱ－15	4	2
キリスト教学Ⅱ－16	4	2
1年英語	4	4
2年英語2(リーディング)	2	2
2年英語2(オラル)	2	2
2年英語1	2	2
2年英作文	2	2
1年フランス語(文法)	4	4
1年フランス語(オラル)	2	2
2年フランス語(講読)	2	2
2年フランス語(会話)	2	2
1年ドイツ語(文法)	4	4
1年ドイツ語(オラル)	2	2
2年ドイツ語(会話)	2	2

2年ドイツ語(講読)	2	2
1年スペイン語(文法)	4	4
1年スペイン語(オラル)	2	2
2年スペイン語	2	2
1年中国語(文法)	4	4
1年中国語(オラル)	2	2
2年中国語(講読)	2	2
2年中国語(会話)	2	2
1年韓国語(文法)	4	4
1年韓国語(オラル)	2	2
2年韓国語	2	2
1年日本語1	3	3
1年日本語2	3	3
2年日本語1	2	2
2年日本語2	2	2
上級日本語1－1	1	2
上級日本語1－2	1	2
日本事情1	2	2
日本事情2	2	2
体育運動学	2	2

2. 基礎課程科目

授 業 科 目	単 位	週 時
基礎課程演習	2	2
人間関係入門	2	2
国際交流入門	2	2
心理学入門	2	2
英語の世界	2	2
アジア史入門	2	2

3. 総合現代教養科目

授 業 科 目	単 位	週 時
女性とキャリア形成	2	2
国際平和と開発援助	2	2
地球化時代のNGO	2	2
人間の安全保障	2	2
憲法1	2	2
憲法2	2	2
憲法3	2	2
憲法4	2	2
情報活用演習	2	2
情報ネットワーク演習	2	2
自己を見つめる	2	2

ベートルズの詩と音楽	2	2
中国古典への招待	2	2
中国思想への招待	2	2
ボランティア共生学	2	2
現代社会と環境	2	2
現代の脳科学	2	2
脳科学の最前線	2	2
生命と人生の倫理	2	2
科学史1	2	2
科学史2	2	2
イスラム世界入門	2	2
イスラムの世界	2	2
アラビア語入門	4	2
アラビア語の世界	4	2
トルコ語の世界	4	2
イタリア語入門	4	2
イタリア語の世界	4	2
タイ語の世界	2	2
チェコ語の世界	4	2
社会福祉論	2	2
児童福祉論	2	2
日本の伝統文化	2	2
ポップカルチャーとジェンダー	2	2
ポップカルチャー	2	2
金融のしくみ	2	2
情報産業論	2	2
聖心スピリットと共生	2	2
健康な生活と健康科学	2	2
キャリアデザイン入門	2	2
災害と人間	2	2
現代を考える	2	2
運動学1	1	2
運動学2	1	2
運動学3	1	2
3・4年英語	2	2
ジェンダー学1	2	2
ジェンダー学2-1	2	2
ジェンダー学3-1	2	2
ジェンダー学4-1	2	2
ジェンダー学5-1	2	2
ジェンダー学5-2	2	2
ジェンダー学6-1	2	2
ジェンダー学6-2	2	2
ジェンダー学6-3	2	2
副専攻修了レポートA1	2	-

ボランティア研究概論1	2	2
ボランティア研究概論2	2	2
ボランティア研究演習1	2	2
ボランティア研究演習2	2	2

英語英文学科

授 業 科 目	単 位	週 時
英作文1	2	2
英文法2	2	2
コンピュータ・リテラシーI	2	2
英文学史概説1	2	2
英文学史概説2	2	2
英語学入門	4	2
英語学概論	4	2
2年英文講義1-1	2	2
2年英文講義1-2	2	2
2年英文講義2-1	2	2
2年英文講義2-2	2	2
2年英文講義3-1	2	2
2年英文講義3-2	2	2
2年英文講義4-1	2	2
2年英文講義4-2	2	2
2年英文演習1	2	2
2年英文演習1-1	2	2
2年英文演習1-2	2	2
2年英文演習2-1	2	2
2年英文演習2-2	2	2
2年英文演習3-1	2	2
2年英文演習3-2	2	2
2年英文演習4-1	2	2
2年英文演習4-2	2	2
2年英文演習5-1	2	2
2年英文演習5-2	2	2
2年英文演習6-1	2	2
2年英文演習6-2	2	2
2年英文演習7	2	2
2年英文演習7-1	2	2
2年英文演習7-2	2	2
2年英文演習8-1	2	2
2年英文演習8-2	2	2
2年英文演習9-1	2	2
2年英文演習9-2	2	2
2年英文演習10-1	2	2
2年英文演習10-2	2	2

2年英文演習11-1	2	2
2年英文演習11-2	2	2
2年英文演習12-1	2	2
2年英文演習12-2	2	2
3年英語学演習1-1	2	2
3年英語学演習1-2	2	2
3年英語学演習2-1	2	2
3年英語学演習2-2	2	2
3年英語学演習3-1	2	2
3年英語学演習3-2	2	2
3年英米文学演習1-1	2	2
3年英米文学演習1-2	2	2
3年英米文学演習2-1	2	2
3年英米文学演習2-2	2	2
3年英米文学演習3-1	2	2
3年英米文学演習3-2	2	2
3年英米文学演習4-1	2	2
3年英米文学演習4-2	2	2
3年英米文学演習5-1	2	2
3年英米文学演習5-2	2	2
3年英米文学演習8-1	2	2
3年英米文学演習8-2	2	2
3年メディア・コミュニケーション演習1-1	2	2
3年メディア・コミュニケーション演習1-2	2	2
3年メディア・コミュニケーション演習2-1	2	2
3年メディア・コミュニケーション演習2-2	2	2
3年メディア・コミュニケーション演習3-1	2	2
3年メディア・コミュニケーション演習3-2	2	2
4年英語学演習1-1	2	2
4年英語学演習1-2	2	2
4年英語学演習2-1	2	2
4年英語学演習2-2	2	2
4年英語学演習3-1	2	2
4年英語学演習3-2	2	2
4年英米文学演習1-1	2	2
4年英米文学演習1-2	2	2
4年英米文学演習2-1	2	2
4年英米文学演習2-2	2	2
4年英米文学演習3-1	2	2
4年英米文学演習3-2	2	2
4年英米文学演習4-1	2	2
4年英米文学演習4-2	2	2
4年英米文学演習5-1	2	2
4年英米文学演習5-2	2	2
4年英米文学演習8-1	2	2

4年英米文学演習8-2	2	2
4年メディア・コミュニケーション演習1-1	2	2
4年メディア・コミュニケーション演習1-2	2	2
4年メディア・コミュニケーション演習2-1	2	2
4年メディア・コミュニケーション演習2-2	2	2
4年メディア・コミュニケーション演習3-1	2	2
4年メディア・コミュニケーション演習3-2	2	2
英語学特講1-1	2	2
英語学特講1-2	2	2
英語学特講2-1	2	2
英語学特講2-2	2	2
英語学特講3-1	2	2
英語学特講3-2	2	2
英語学特講4-1	2	2
英語学特講4-2	2	2
英語学特講5-1	2	2
英語学特講5-2	2	2
英語学特講6-1	2	2
英語学特講6-2	2	2
英米文学特講1	2	2
英米文学特講2-1	2	2
英米文学特講2-2	2	2
英米文学特講3-1	2	2
英米文学特講3-2	2	2
英米文学特講4-1	2	2
英米文学特講4-2	2	2
英米文学特講5-1	2	2
英米文学特講5-2	2	2
英米文学特講6-1	2	2
英米文学特講6-2	2	2
英米文学特講7-1	2	2
英米文学特講7-2	2	2
英米文学特講8-1	2	2
英米文学特講8-2	2	2
メディア・コミュニケーション特講1	2	2
メディア・コミュニケーション特講2	4	2
メディア・コミュニケーション特講3	4	2
メディア・コミュニケーション特講4	4	2
メディア・コミュニケーション特講5	4	2
メディア・コミュニケーション特講6	4	2
メディア・コミュニケーション特講7-2	2	2
メディア・コミュニケーション特講8-2	2	2
英語史	4	2
英文学入門	4	2
米文学史概説1	2	2

米文学史概説2	2	2
メディア・コミュニケーション入門1	2	2
メディア・コミュニケーション入門2	2	2
メディア・リテラシー	2	2
英語発音法	2	2
英会話	4	2
オラルコミュニケーション	4	2
英文法	2	2
英語文化論 [英語と聖書] 1	2	2
英語文化論 [英語と聖書] 2	2	2
英語文化論 [児童英語] 1	2	2
英語文化論 [児童英語] 2	2	2
英語文化論 [児童文学] 1	2	2
英語文化論 [児童文学] 2	2	2
英語文化論 [映画批評] 1	2	2
英語文化論 [映画批評] 2	2	2
英語文化論 [アメリカ研究] 1	2	2
英語文化論 [アメリカ研究] 2	2	2
英語文化論 [文学と電子メディア] 1	2	2
英語文化論 [文学と電子メディア] 2	2	2
英語文化論 [翻訳実践] 1	2	2
英語文化論 [翻訳実践] 2	2	2
異文化理解	2	2
米文学入門	4	2
マルチメディアと英語	4	2
メディア・ライティング	4	2
比較文化論	2	2
コンピュータ・リテラシーII	2	2
英語学・英語教育学副専攻修了レポート	2	-
英米文学副専攻修了レポート	2	-
メディア・コミュニケーション副専攻修了レポート	2	-
卒業論文	8	-

研究法実習VIII	2	2
日本文学史 I	2	2
日本文学史 II	2	2
日本文学史 III	2	2
日本文学史 IV	2	2
日本文学史 V	2	2
日本文学史 VI	2	2
日本語学概論 I	2	2
日本語学概論 II	2	2
日本語史概説 I	2	2
日本語史概説 II	2	2
古典文学演習 I	4	2
古典文学演習 II	4	2
古典文学演習 III	4	2
古典文学演習 IV	4	2
近代文学演習 I	4	2
近代文学演習 II	4	2
近代文学演習 III	4	2
近代文学演習 IV	4	2
日本語学演習 I	4	2
日本語学演習 II	4	2
日本語学演習 III	4	2
日本語学演習 IV	4	2
日本語学演習 V	4	2
古典文学研究 I	2	2
古典文学研究 II	2	2
古典文学研究 III	2	2
古典文学研究 IV	2	2
古典文学研究 V	2	2
古典文学研究 VI	2	2
古典文学研究 VII	2	2
古典文学研究 VIII	2	2
近代文学研究 I	2	2
近代文学研究 II	2	2
近代文学研究 III	2	2
近代文学研究 IV	2	2
近代文学研究 V	2	2
近代文学研究 VI	2	2
近代文学研究 VII	2	2

日本語日本文学科

授 業 科 目	単 位	週 時
研究法実習 I	2	2
研究法実習 II	2	2
研究法実習 IV	2	2
研究法実習 IV	2	2
研究法実習 V	2	2
研究法実習 VI	2	2
研究法実習 VII	2	2

近代文学研究Ⅷ	2	2
児童文学研究Ⅰ	2	2
児童文学研究Ⅱ	2	2
日本語の文法Ⅰ	2	2
日本語の文法Ⅱ	2	2
日本語の音声Ⅰ	2	2
日本語の音声Ⅱ	2	2
日本語学研究Ⅰ	2	2
日本語学研究Ⅱ	2	2
日本語学研究Ⅲ	2	2
日本語学研究Ⅳ	2	2
古典文学講読Ⅰ	2	2
古典文学講読Ⅱ	2	2
日本語の世界	2	2
古典文学の世界	2	2
近代文学の世界	2	2
ことばの世界	2	2
文章表現法	4	2
言語学概論Ⅰ	2	2
言語学概論Ⅱ	2	2
対照言語学Ⅰ	2	2
対照言語学Ⅱ	2	2
日本語教授法Ⅰ	4	2
日本語教授法Ⅱ	4	2
日本語教育実習	2	2
日本語教育入門	2	2
日本文化研究Ⅰ	2	2
日本文化研究Ⅱ	2	2
日本文化研究Ⅲ	2	2
日本文化研究Ⅳ	2	2
文献情報処理入門	4	2
文芸創作入門	4	2
中国文学概論Ⅰ	2	2
中国文学概論Ⅱ	2	2
書道Ⅰ	2	2
書道Ⅱ	2	2
卒業論文	8	-

史学科

授 業 科 目	単 位	週 時
日本史史料論	4	2
日本史演習Ⅰ	4	2
日本史演習Ⅱ－1	4	2
日本史演習Ⅱ－2	4	2
日本史演習Ⅱ－3	4	2
日本史演習Ⅱ－4	4	2
日本史演習Ⅲ－1	4	2
日本史演習Ⅲ－2	4	2
日本史演習Ⅲ－3	4	2
日本史演習Ⅲ－4	4	2
世界史文献講読Ⅰ－1	2	2
世界史文献講読Ⅰ－2	2	2
世界史演習Ⅰ－1	2	2
世界史演習Ⅰ－2	2	2
世界史演習Ⅱ－1	4	2
世界史演習Ⅱ－2	4	2
世界史演習Ⅱ－3	4	2
世界史演習Ⅱ－4	4	2
世界史演習Ⅱ－5	4	2
世界史演習Ⅱ－6	4	2
世界史演習Ⅲ－1	4	2
世界史演習Ⅲ－2	4	2
世界史演習Ⅲ－3	4	2
世界史演習Ⅲ－4	4	2
世界史演習Ⅲ－5	4	2
世界史演習Ⅲ－6	4	2
古文入門	4	2
国際関係史Ⅰ	4	2
国際関係史Ⅱ	4	2
世界音楽地誌	4	2
日本史概説Ⅰ	2	2
日本史概説Ⅱ	2	2
外国史概説Ⅰ－1	2	2
外国史概説Ⅰ－2	2	2
外国史概説Ⅱ－1	2	2
外国史概説Ⅱ－2	2	2
外国史概説Ⅱ－3	2	2
資料整理実習	2	2
史料講読Ⅰ	4	2
史料講読Ⅱ	4	2
日本考古学	4	2
日本民俗学	4	2
日本古代史Ⅰ	4	2

日本中世史 I	4	2
日本近世史 I	4	2
日本近世史 II	4	2
日本近現代史 I	4	2
日本近現代史 II - 1	2	2
日本近現代史 II - 2	2	2
日本文化史 I	2	2
日本文化史 II	2	2
中国古代文化史	4	2
中国近代史	4	2
朝鮮現代史	4	2
東南アジア史	4	2
南アジア現代史	4	2
西アジア近代史	4	2
西アジア文化史	4	2
イスラム社会史入門	2	2
古代オリエント史	4	2
古代ローマ史	4	2
ヨーロッパ中世史 I	4	2
ヨーロッパ中世史 II	4	2
ヨーロッパ近代史 I	4	2
ヨーロッパ近代史 II	4	2
ヨーロッパ現代史 I	4	2
ヨーロッパ現代史 II	4	2
ロシア文化史	4	2
アメリカ史	4	2
ラテンアメリカ史	4	2
世界史文献講読 II - 1	2	2
世界史文献講読 II - 2	2	2
世界史文献講読 III - 1	2	2
世界史文献講読 III - 2	2	2
世界史文献講読 IV - 1	2	2
世界史文献講読 IV - 2	2	2
世界史文献講読 V - 1	2	2
世界史文献講読 V - 2	2	2
世界史文献講読 VI - 1	2	2
世界史文献講読 VI - 2	2	2
人文地理学 1	2	2
人文地理学 2	2	2
地誌学 1	2	2
地誌学 2	2	2
自然地理学 1	2	2
自然地理学 2	2	2
法律学 [含国際法]	4	2
政治学概論 [含国際政治] 1	4	2

政治学概論 [含国際政治] 2	4	2
取引関係法	4	2
国際法 1	2	2
国際法 2	2	2
現代家族法	4	2
社会学	4	2
経済学概論 [含国際経済]	4	2
哲学概論 I	2	2
哲学概論 II	2	2
哲学概論 III	2	2
哲学概論 IV	2	2
倫理学概論 I	2	2
倫理学概論 II	2	2
倫理学概論 III	2	2
倫理学概論 IV	2	2
卒業論文	8	—

人間関係学科

授 業 科 目	単 位	週 時
対人社会心理学 1	2	2
マスコミ社会心理学 1	2	2
人格心理学 1	2	2
家族社会学 1	2	2
職業社会学 1	2	2
文化人類学 1	2	2
社会調査入門	2	2
比較文化宗教学 1	2	2
人間関係共通演習	2	2
対人社会心理学演習 1	4	2
マスコミ社会心理学演習 1	4	2
人格心理学演習 1	4	2
家族社会学演習 1	4	2
職業社会学演習 1	4	2
文化人類学演習 1	4	2
比較文化学演習 1	4	2
対人社会心理学演習 2	4	2
マスコミ社会心理学演習 2	4	2
人格心理学演習 2	4	2
家族社会学演習 2	4	2
職業社会学演習 2	4	2
文化人類学演習 2	4	2
比較文化学演習 2	4	2
社会心理学特講 1	2	2
社会心理学特講 2	2	2

社会心理学特講 4	2	2
社会心理学特講 6	2	2
社会心理学特講 9	2	2
社会心理学特講 1 1	2	2
社会心理学特講 1 4	2	2
社会心理学特講 1 5	2	2
文化人類学特講 4	2	2
文化人類学特講 6	2	2
文化人類学特講 7	2	2
文化人類学特講 1 0	2	2
文化人類学特講 1 1	2	2
文化人類学特講 1 2	2	2
人文地理学 1	2	2
人文地理学 2	2	2
自然地理学 1	2	2
自然地理学 2	2	2
地誌学 1	2	2
地誌学 2	2	2
マス・コミュニケーション論	2	2
社会学	4	2
家族社会学 2	2	2
職業社会学 2	2	2
キャリア形成の社会学	2	2
社会学特講 1	2	2
社会学特講 2	2	2
社会学特講 3	2	2
社会学特講 4	2	2
交流分析概論	2	2
人格発達心理学	2	2
人格心理学特講 1	2	2
人格心理学特講 4	2	2
人格臨床心理学特講 2	2	2
人格臨床心理学特講 4	2	2
比較文化宗教学 2	2	2
比較文化学特講	4	2
比較文化学特講 1	2	2
比較文化学特講 2	2	2
比較文化学特講 3	2	2
比較文化学特講 4	2	2
比較文化学特講 5	2	2
比較文化学 1	2	2
比較文化学 2	2	2
人間関係副専攻演習 1	2	2
社会調査の技法 1	2	2
社会調査の技法 2	2	2

データ分析の基礎	2	2
社会統計学	2	2
多変量解析法	2	2
質的調査法 1	2	2
質的調査法 2	2	2
社会調査実習 1	4	2
社会調査実習 2	4	2
社会調査実習 3	4	2
経済学概論 [含国際経済]	4	2
国際経済学 1	2	2
国際経済学 2	2	2
開発経済学	4	2
哲学概論 I	2	2
哲学概論 II	2	2
哲学概論 III	2	2
哲学概論 IV	2	2
倫理学概論 I	2	2
倫理学概論 II	2	2
倫理学概論 III	2	2
倫理学概論 IV	2	2
日本倫理思想史 I	2	2
日本倫理思想史 II	2	2
キリスト教学概論 I	2	2
キリスト教学概論 II	2	2
宗教思想史 I	2	2
宗教思想史 II	2	2
日本史概説 I	2	2
日本史概説 II	2	2
外国史概説 I - 1	2	2
外国史概説 I - 2	2	2
外国史概説 II - 1	2	2
外国史概説 II - 2	2	2
外国史概説 II - 3	2	2
法律学 [含国際法]	4	2
政治学概論 [含国際政治] 1	4	2
政治学概論 [含国際政治] 2	4	2
卒業論文	8	—

国際交流学科

授 業 科 目	単 位	週 時
国際交流概論	4	2
英語コミュニケーション I (1)	2	2
英語コミュニケーション I (2)	2	2
英語コミュニケーション II (1)	2	2

英語コミュニケーションⅡ(2)	2	2
フランス語コミュニケーションⅠ(1)	2	2
フランス語コミュニケーションⅠ(2)	2	2
フランス語コミュニケーションⅡ(1)	2	2
フランス語コミュニケーションⅡ(2)	2	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ(1)	2	2
ドイツ語コミュニケーションⅠ(2)	2	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ(1)	2	2
ドイツ語コミュニケーションⅡ(2)	2	2
スペイン語コミュニケーションⅠ(1)	2	2
スペイン語コミュニケーションⅠ(2)	2	2
スペイン語コミュニケーションⅡ(1)	2	2
スペイン語コミュニケーションⅡ(2)	2	2
中国語コミュニケーションⅠ(1)	2	2
中国語コミュニケーションⅠ(2)	2	2
中国語コミュニケーションⅡ(1)	2	2
中国語コミュニケーションⅡ(2)	2	2
韓国語コミュニケーションⅠ(1)	2	2
韓国語コミュニケーションⅠ(2)	2	2
韓国語コミュニケーションⅡ(1)	2	2
韓国語コミュニケーションⅡ(2)	2	2
法学演習Ⅰ(1)	2	2
法学演習Ⅰ(2)	2	2
国際政治演習Ⅰ(1)	2	2
国際政治演習Ⅰ(2)	2	2
国際経済演習Ⅰ(1)	2	2
国際経済演習Ⅰ(2)	2	2
情報科学演習Ⅰ(1)	2	2
情報科学演習Ⅰ(2)	2	2
異文化間コミュニケーション演習Ⅰ(1)	2	2
異文化間コミュニケーション演習Ⅰ(2)	2	2
フランス社会文化演習Ⅰ(1)	2	2
フランス社会文化演習Ⅰ(2)	2	2
ドイツ社会文化演習Ⅰ(1)	2	2
ドイツ社会文化演習Ⅰ(2)	2	2
中国社会文化演習Ⅰ(1)	2	2
中国社会文化演習Ⅰ(2)	2	2
日欧比較思想演習Ⅰ(1)	2	2
日欧比較思想演習Ⅰ(2)	2	2
法学演習Ⅱ(1)	2	2
法学演習Ⅱ(2)	2	2
国際政治演習Ⅱ(1)	2	2
国際政治演習Ⅱ(2)	2	2
国際経済演習Ⅱ(1)	2	2
国際経済演習Ⅱ(2)	2	2

情報科学演習Ⅱ(1)	2	2
情報科学演習Ⅱ(2)	2	2
異文化間コミュニケーション演習Ⅱ(1)	2	2
異文化間コミュニケーション演習Ⅱ(2)	2	2
フランス社会文化演習Ⅱ(1)	2	2
フランス社会文化演習Ⅱ(2)	2	2
ドイツ社会文化演習Ⅱ(1)	2	2
ドイツ社会文化演習Ⅱ(2)	2	2
中国社会文化演習Ⅱ(1)	2	2
中国社会文化演習Ⅱ(2)	2	2
日欧比較思想演習Ⅱ(1)	2	2
日欧比較思想演習Ⅱ(2)	2	2
法学 [含国際法]	4	2
現代家族法	4	2
国際法1	2	2
国際法2	2	2
取引関係法	4	2
政治学概論 [含国際政治] 1	4	2
政治学概論 [含国際政治] 2	4	2
国際交流特殊講義	2	2
現代国際政治Ⅰ	4	2
現代国際政治Ⅴ	2	2
行政学	4	2
国際連合論	2	2
アメリカ外交論	4	2
経済学概論 [含国際経済]	4	2
経済理論入門	4	2
国際経済学1	2	2
国際経済学2	2	2
開発経済学	4	2
情報処理入門	4	2
プログラム入門	4	2
コンピュータサイエンス	4	2
応用情報処理	4	2
国際コミュニケーション論	4	2
異文化間コミュニケーション(1)	2	2
異文化間コミュニケーション(2)	2	2
国際交流実習1	2	2
フランスの社会と文化(1)	2	2
フランスの社会と文化(2)	2	2
ドイツの社会と文化(1)	2	2
ドイツの社会と文化(2)	2	2
東アジアの社会と文化(1)	2	2
ドイツ事情(1)	2	2
ドイツ事情(2)	2	2

フランス事情(1)	2	2
フランス事情(2)	2	2
中国事情(1)	2	2
Contemporary American Culture(1)	2	2
Contemporary American Culture(2)	2	2
日欧思想交渉史入門(1)	2	2
アジア文化論	2	2
社会学	4	2
文化人類学特講 1 0	2	2
文化人類学特講 1 1	2	2
文化人類学 1	2	2
家族社会学 1	2	2
家族社会学 2	2	2
哲学概論 I	2	2
哲学概論 II	2	2
哲学概論 III	2	2
哲学概論 IV	2	2
倫理学概論 I	2	2
倫理学概論 II	2	2
倫理学概論 III	2	4
倫理学概論 IV	2	4
日本倫理思想史 I	2	2
日本倫理思想史 II	2	2
キリスト教学概論 I	2	2
キリスト教学概論 II	2	2
宗教思想史 I	2	2
宗教思想史 II	2	2
日本史概説 I	2	2
日本史概説 II	2	2
外国史概説 I-1	2	2
外国史概説 I-2	2	2
外国史概説 II-1	2	2
外国史概説 II-2	2	2
外国史概説 II-3	2	2
人文地理学 1	2	2
人文地理学 2	2	2
地誌学 1	2	2
地誌学 2	2	2
自然地理学 1	2	2
自然地理学 2	2	2
卒業論文	8	—

哲学入門 I	2	2
哲学入門 II	2	2
哲学演習 I	4	2
哲学演習 II	4	2
哲学演習 III	4	2
哲学演習 IV	4	2
哲学演習 V-1	2	2
哲学演習 V-2	2	2
哲学演習 VI-1	2	2
哲学演習 VI-2	2	2
哲学演習 VII-1	2	2
哲学演習 VII-2	2	2
倫理学演習 I	4	2
倫理学演習 II	4	2
倫理学演習 III	4	2
哲学史演習 I	4	2
哲学史演習 II	4	2
哲学史演習 III	4	2
日本思想史学演習 I	4	2
日本思想史学演習 II	4	2
美学・芸術学演習 I	4	2
美学・芸術学演習 II	4	2
美学・芸術学演習 III	4	2
美学・芸術学演習 IV	4	2
キリスト教学演習 I	4	2
キリスト教学演習 II	4	2
キリスト教学演習 III	4	2
キリスト教学演習 IV	4	2
日本美術史演習	4	2
西洋美術史演習	4	2
東洋美術史演習	4	2
哲学特殊演習 I	2	2
哲学特殊演習 II	2	2
哲学特殊演習 III	2	2
哲学特殊演習 IV	2	2
哲学特殊演習 V	2	2
哲学特殊演習 VI	2	2
哲学特殊演習 VII	2	2
哲学概論 I	2	2
哲学概論 II	2	2
哲学概論 III	2	2
哲学概論 IV	2	2
倫理学概論 I	2	2
倫理学概論 II	2	2
倫理学概論 III	2	2

哲学科

授 業 科 目	単 位	週 時
---------	-----	-----

倫理学概論Ⅳ	2	2
美学・芸術学概論Ⅰ	2	2
美学・芸術学概論Ⅱ	2	2
キリスト教学概論Ⅰ	2	2
キリスト教学概論Ⅱ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅰ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅱ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅲ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅳ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅴ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅵ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅶ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅷ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅸ	2	2
哲学・倫理学特講Ⅹ	2	2
哲学・倫理学特講ⅩⅠ	2	2
哲学・倫理学特講ⅩⅡ	2	2
美学・芸術学特講Ⅰ	2	2
美学・芸術学特講Ⅱ	2	2
美学・芸術学特講Ⅲ	2	2
美学・芸術学特講Ⅳ	2	2
美学・芸術学特講Ⅴ	2	2
美学・芸術学特講Ⅵ	2	2
美学・芸術学特講Ⅶ	2	2
美学・芸術学特講Ⅷ	2	2
美学・芸術学特講Ⅸ	2	2
美学・芸術学特講Ⅹ	2	2
キリスト教学特講Ⅰ	4	2
キリスト教学特講Ⅱ	4	2
キリスト教学特講Ⅲ	4	2
キリスト教学特講Ⅳ	4	2
キリスト教学特講Ⅴ	4	2
論理学	4	2
存在論	4	2
認識論Ⅰ	2	2
認識論Ⅱ	2	2
西洋古代・中世哲学史Ⅰ	2	2
西洋古代・中世哲学史Ⅱ	2	2
西洋近代哲学史	4	2
西洋近代哲学史Ⅰ	2	2
西洋近代哲学史Ⅱ	2	2
日本倫理思想史Ⅰ	2	2
日本倫理思想史Ⅱ	2	2
社会思想史Ⅰ	2	2
社会思想史Ⅱ	2	2

宗教思想史Ⅰ	2	2
宗教思想史Ⅱ	2	2
日本美術史Ⅰ	2	2
日本美術史Ⅱ	2	2
西洋美術史Ⅰ	2	2
西洋美術史Ⅱ	2	2
東洋美術史Ⅰ	2	2
東洋美術史Ⅱ	2	2
キリスト教思想史Ⅰ	2	2
キリスト教思想史Ⅱ	2	2
キリスト教倫理学	4	2
キリスト教美術	4	2
キリスト教音楽	4	2
キリスト教文学	4	2
旧約聖書学Ⅰ	2	2
旧約聖書学Ⅱ	2	2
聖書学講読Ⅰ	4	2
聖書学講読Ⅱ	4	2
ギリシア語Ⅰ	4	2
ギリシア語Ⅱ	4	2
ラテン語Ⅰ	4	2
ラテン語Ⅱ	4	2
宗教心理学	4	2
世界音楽地誌	4	2
中国古代文化史	4	2
西アジア文化史	4	2
古代ギリシャ史	4	2
日本史概説Ⅰ	2	2
日本史概説Ⅱ	2	2
外国史概説Ⅰ	2	2
外国史概説Ⅰ－1	2	2
外国史概説Ⅰ－2	2	2
外国史概説Ⅱ	2	2
外国史概説Ⅱ－1	2	2
外国史概説Ⅱ－2	2	2
外国史概説Ⅱ－3	2	2
人文地理学1	2	2
人文地理学2	2	2
自然地理学1	2	2
自然地理学2	2	2
地誌学1	2	2
地誌学2	2	2
社会学	4	2
法律学〔含国際法〕	4	2
政治学概論〔含国際政治〕1	4	2

政治学概論 [含国際政治] 2	4	2
経済学概論 [含国際経済]	4	2
卒業論文	8	-

教育学科 教育学専攻

授 業 科 目	単 位	週 時
教育学概論	4	2
教育学演習 2-1	2	2
教育学演習 2-2	2	2
教育学演習 2-3	2	2
教育学演習 2-4	2	2
教育学演習 2-5	2	2
教育学演習 2-6	2	2
教育学演習 2-7	2	2
教育学演習 2-8	2	2
教育学演習 2-9	2	2
教育学演習 2-10	2	2
教育学演習 2-11	2	2
教育学演習 2-12	2	2
教育学演習 2-13	2	2
教育学演習 2-14	2	2
教育学演習 2-17	2	2
教育学演習 2-19	2	2
教育学演習 2-20	2	2
教育学演習 3	4	2
教育学演習 1	4	2
教育情報基礎演習 1	2	2
教育情報基礎演習 2	2	2
教育哲学 1	2	2
教育哲学 2	2	2
教育哲学特講	4	2
西洋教育史 2	2	2
日本教育史 1	2	2
日本教育史 2	2	2
日本教育史特講	4	2
西洋教育運動史	2	2
教育行政学 2	2	2
教育社会学概論 1	2	2
教育社会学概論 2	2	2
比較教育学	4	2
比較教育学特講	2	2
生涯学習概論	2	2
教育心理学	2	2
教育課程方法論	2	2

教育方法	2	2
教育調査	2	2
人間学習原論	2	2
人間学習 1	2	2
人間学習 2	2	2
人間学習 3	2	2
人間学習 4	2	2
人間学習 5	2	2
人間学習 6	2	2
人間学習 7	2	2
人間学習 8	2	2
人間学習 9	2	2
人間学習 10	2	2
人間学習 11	2	2
人間学習 12	2	2
人間学習原論 [総合演習]	2	2
人間学習 1 [総合演習]	2	2
人間学習 2 [総合演習]	2	2
人間学習 3 [総合演習]	2	2
人間学習 4 [総合演習]	2	2
人間学習 5 [総合演習]	2	2
人間学習 6 [総合演習]	2	2
人間学習 7 [総合演習]	2	2
人間学習 8 [総合演習]	2	2
人間学習 9 [総合演習]	2	2
人間学習 10 [総合演習]	2	2
人間学習 11 [総合演習]	2	2
人間学習 12 [総合演習]	2	2
教育メディア論	2	2
教育情報学	2	2
メディア教材開発	2	2
教育工学	2	2
マルチメディア活用演習 1	2	2
マルチメディア活用演習 2	2	2
教育学特講 1	4	2
教育学特講 2	2	2
教育学特講 3	2	2
教育学特講 4	2	2
教育学特講 5	2	2
教育学特講 6	2	2
教育学特講 7	2	2
教育学特講 8	2	2
教育学特講 9	2	2
教育学特講 10	2	2
体育学特講	2	2

教育相談	2	2
道徳教育の研究	2	2
特別活動	2	2
生徒指導 [含進路指導]	2	2
教育学入門	2	2
障害者教育・福祉概論	2	2
視聴覚教育1	2	2
視聴覚教育2	2	2
教育音楽地誌	2	2
健康社会学	2	2
自主プロジェクト研究(My プロジェクト)	4	2
日本史概説Ⅰ	2	2
日本史概説Ⅱ	2	2
外国史概説Ⅰ-1	2	2
外国史概説Ⅰ-2	2	2
外国史概説Ⅱ-1	2	2
外国史概説Ⅱ-2	2	2
外国史概説Ⅱ-3	2	2
人文地理学1	2	2
人文地理学2	2	2
地誌学1	2	2
地誌学2	2	2
自然地理学1	2	2
自然地理学2	2	2
社会学	4	2
経済学概論[含国際経済]	4	2
法律学[含国際法]	4	2
政治学概論[含国際政治] 1	4	2
政治学概論[含国際政治] 2	4	2
卒業論文	8	-

教育学演習2-9	2	2
教育学演習2-10	2	2
教育学演習2-11	2	2
教育学演習2-12	2	2
教育学演習2-13	2	2
教育学演習2-14	2	2
教育学演習2-17	2	2
教育学演習2-19	2	2
教育学演習2-20	2	2
特別活動	2	2
道徳教育の研究	2	2
教育相談	2	2
生徒指導 [含進路指導]	2	2
教職入門	2	2
教育実習指導1	1	2
教育実習指導2	1	2
教育実習指導3	1	2
教育実習指導4	1	2
教育実習指導5	1	2
教育実習指導6	1	2
教育実習1	2	-
教育実習2	2	-
教育実習3	2	-
教育実習4	2	-
教職実践演習(幼稚園・小学校)	2	2
国語科教育法 [小学校]	2	2
社会科教育法 [小学校]	2	2
算数科教育法	2	2
理科教育法	2	2
生活科教育法	2	2
音楽科教育法	2	2
図画工作科教育法	2	2
家庭科教育法	2	2
体育科教育法	2	2
保育内容研究 [健康]	2	2
保育内容研究 [人間関係]	2	2
保育内容研究 [環境]	2	2
保育内容研究 [言葉]	2	2
保育内容研究 [表現] 1	2	2
保育内容研究 [表現] 2	2	2
幼児音楽1	2	2
幼児音楽2	2	2
国語概論 [含書写]	2	2
日本語学概論Ⅰ	2	2
日本語学概論Ⅱ	2	2

教育学科 初等教育学専攻

授 業 科 目	単 位	週 時
教育学概論	4	2
幼児教育原論	2	2
教育学演習3	4	2
教育学演習2-1	2	2
教育学演習2-2	2	2
教育学演習2-3	2	2
教育学演習2-4	2	2
教育学演習2-5	2	2
教育学演習2-6	2	2
教育学演習2-7	2	2
教育学演習2-8	2	2

書道 I	2	2
書道 II	2	2
社会科概論	2	2
数学概論	2	2
理科概論	2	2
生活科概論	2	2
音楽概論 1	2	2
音楽概論 2	2	2
造形概論	2	2
家政学概論	2	2
体育概論	2	2
教育哲学 1	2	2
教育哲学 2	2	2
日本教育史 1	2	2
日本教育史 2	2	2
西洋教育史 2	2	2
西洋教育運動史	2	2
教育原理	2	2
教育行政学 2	2	2
教育社会学概論 1	2	2
教育社会学概論 2	2	2
教育経営	2	2
教育課程方法論	2	2
教育課程論	2	2
幼児教育課程論	2	2
教育心理学	2	2
幼児理解 [含教育相談]	2	2
保育方法論	4	2
保育方法論 1	2	2
保育方法論 2	2	2
教育方法	2	2
教育メディア論	2	2
教育工学	2	2
教育情報学	2	2
メディア教材開発	2	2
人間学習原論	2	2
人間学習 1	2	2
人間学習 2	2	2
人間学習 3	2	2
人間学習 4	2	2
人間学習 5	2	2
人間学習 6	2	2
人間学習 7	2	2
人間学習 8	2	2
人間学習 9	2	2

人間学習 10	2	2
人間学習 11	2	2
人間学習 12	2	2
人間学習原論 [総合演習]	2	2
人間学習 1 [総合演習]	2	2
人間学習 2 [総合演習]	2	2
人間学習 3 [総合演習]	2	2
人間学習 4 [総合演習]	2	2
人間学習 5 [総合演習]	2	2
人間学習 6 [総合演習]	2	2
人間学習 7 [総合演習]	2	2
人間学習 8 [総合演習]	2	2
人間学習 9 [総合演習]	2	2
人間学習 10 [総合演習]	2	2
人間学習 11 [総合演習]	2	2
人間学習 12 [総合演習]	2	2
教育学演習 1	4	2
教育情報基礎演習 1	2	2
教育情報基礎演習 2	2	2
生涯学習概論	2	2
比較教育学	4	2
比較教育学特講	2	2
教育調査	2	2
視聴覚教育 1	2	2
視聴覚教育 2	2	2
マルチメディア活用演習 1	2	2
マルチメディア活用演習 2	2	2
卒業論文	8	-

心理学科

授 業 科 目	単 位	週 時
心理学実験演習 1	4	2
心理統計法 I	2	2
心理学概論	4	2
基礎情報処理技法	2	2
3年心理学演習	4	2
実験心理学演習	4	2
発達心理学演習	4	2
発達臨床心理学演習	4	2
計量心理学特講 1	2	2
計量心理学特講 2	2	2
計量心理学特講 3	2	2
心理学研究法 1	2	2
心理学研究法 2	2	2

心理統計法Ⅱ	2	2
心理学史	2	2
心理学実験演習 2	2	2
心理学実験演習 3	2	2
心理学演習 1	2	2
心理学演習 2	2	2
認知心理学特講 1	2	2
認知心理学特講 2	2	2
認知心理学特講 3	2	2
認知心理学特講 4	2	2
認知心理学特講 5	2	2
認知心理学特講 6	2	2
認知心理学特講 7	2	2
認知心理学特講 8	2	2
発達心理学特講 1	2	2
発達心理学特講 3	2	2
発達心理学特講 6	2	2
発達心理学特講 7	2	2
発達心理学特講 8	2	2
臨床心理学特講 1	2	2
臨床心理学特講 2	2	2
臨床心理学特講 3	2	2
臨床心理学特講 4	2	2
臨床心理学特講 5	2	2
臨床心理学特講 6	2	2
臨床心理学特講 7	2	2
臨床心理学特講 8	2	2
発達心理学 1	2	2
発達心理学 2	2	2
社会学	4	2
経済学概論[含国際経済]	4	2
健康社会学	2	2
哲学概論Ⅰ	2	2
哲学概論Ⅱ	2	2
哲学概論Ⅲ	2	2
哲学概論Ⅳ	2	2
倫理学概論Ⅰ	2	2
倫理学概論Ⅱ	2	2
倫理学概論Ⅲ	2	2
倫理学概論Ⅳ	2	2
キリスト教学概論Ⅰ	2	2
キリスト教学概論Ⅱ	2	2
宗教思想史Ⅰ	2	2
宗教思想史Ⅱ	2	2
卒業論文	8	—

教職課程

授 業 科 目	単 位	週 時
教職入門	2	2
教育原理	2	2
教育哲学 1	2	2
教育哲学 2	2	2
教育心理学	2	2
発達心理学 1	2	2
発達心理学 2	2	2
教育経営	2	2
教育行政学 2	2	2
教育社会学概論 1	2	2
教育社会学概論 2	2	2
比較教育学	4	2
教育課程論	2	2
教育課程方法論	2	2
道徳教育の研究	2	2
特別活動	2	2
教育学概論	4	2
教育方法	2	2
教育メディア論	2	2
教育情報学	2	2
メディア教材開発	2	2
生徒指導 [含進路指導]	2	2
教育相談	2	2
日本教育史 1	2	2
日本教育史 2	2	2
西洋教育史 2	2	2
西洋教育運動史	2	2
教育工学	2	2
国語科教育法 1	4	2
国語科教育法 2	2	2
国語科教育法 3	2	2
社会科教育法 1	2	2
社会科教育法 2	2	2
社会・地理歴史科教育法 1	2	2
社会・地理歴史科教育法 2	2	2
社会・公民科教育法 1	2	2
社会・公民科教育法 2	2	2
宗教科教育法 1	4	2
宗教科教育法 2	2	2
宗教科教育法 3	2	2
英語科教育法 1	4	2

英語科教育法 2	2	2
英語科教育法 3	2	2
国語科教育法 [小学校]	2	2
社会科教育法 [小学校]	2	2
生活科教育法	2	2
算数科教育法	2	2
理科教育法	2	2
音楽科教育法	2	2
図画工作科教育法	2	2
家庭科教育法	2	2
体育科教育法	2	2
幼児教育原論	2	2
幼児教育課程論	2	2
保育内容研究 [健康]	2	2
保育内容研究 [人間関係]	2	2
保育内容研究 [環境]	2	2
保育内容研究 [言葉]	2	2
保育内容研究 [表現] 1	2	2
保育内容研究 [表現] 2	2	2
保育方法論	4	2
保育方法論 1	2	2
保育方法論 2	2	2
幼児理解 [含教育相談]	2	2
人間学習原論 [総合演習]	2	2
人間学習 1 [総合演習]	2	2
人間学習 2 [総合演習]	2	2
人間学習 3 [総合演習]	2	2
人間学習 4 [総合演習]	2	2
人間学習 5 [総合演習]	2	2
人間学習 6 [総合演習]	2	2
人間学習 7 [総合演習]	2	2
人間学習 8 [総合演習]	2	2
人間学習 9 [総合演習]	2	2
人間学習 10 [総合演習]	2	2
人間学習 11 [総合演習]	2	2
人間学習 12 [総合演習]	2	2
教育実習指導 1	1	2
教育実習指導 2	1	2
教育実習指導 3	1	2
教育実習指導 4	1	2
教育実習指導 5	1	2
教育実習指導 6	1	2
教育実習 1	2	-
教育実習 2	2	-
教育実習 3	2	-
教育実習 4	2	-

教職実践演習 (中学・高校)	2	2
教職実践演習 (幼稚園・小学校)	2	2

博物館学芸員課程

授 業 科 目	単 位	週 時
博物館概論	2	2
博物館学各論 1	4	2
博物館学各論 2	4	2
博物館情報・メディア論	2	2
博物館教育論	2	2
博物館実習	3	2
生涯学習概論	2	2

別表第2

本学において取得できる教員免許状の種類と教科 ※

学校種別	免許教科	一、二種の別	学 科
高等学校	英 語	一種免許状	英語英文学科
	国 語	一種免許状	日本語日本文学科
	地理歴史	一種免許状	史学科／哲学科
	公 民	一種免許状	哲学科／教育学科（教育学専攻）／心理学科
	宗 教	一種免許状	哲学科
中 学 校	英 語	一種免許状	英語英文学科
		二種免許状	
	国 語	一種免許状	日本語日本文学科
		二種免許状	
	社 会	一種免許状	哲学科
		二種免許状	
	宗 教	一種免許状	哲学科
		二種免許状	
小 学 校	一 種 免 許 状	教育学科（初等教育学専攻）	
	二 種 免 許 状		
幼 稚 園	一 種 免 許 状	教育学科（初等教育学専攻）	
	二 種 免 許 状		

※認可申請中（平成25年5月書類提出）

別表第3

学部学生納付金額

[単位：円]

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
入 学 金	350,000	-----	-----	-----
授 業 料	650,000	650,000	650,000	650,000
施設設備費	265,000	200,000	200,000	200,000
諸 費	90,000	90,000	90,000	90,000
特 別 費	30,000	30,000	30,000	30,000
計	1,385,000	970,000	970,000	970,000

学則の変更の趣旨等を記載した書類(収容定員増)

(1) 学則変更(収容定員変更)の内容

本学文学部教育学科について、平成 26 年度 4 月から、「聖心女子大学学則」第 3 条を、以下のように変更する。

- ① 教育学科初等教育学専攻の入学定員を「20 名」から 20 名増の「40 名」に、収容定員を「80 名」から 80 名増の「160 名」とする。
- ② 教育学科教育・心理学専攻を教育学専攻とし、入学定員を「85 名」から 60 名減少の「25 名」に、編入学定員を「8 名」から 4 名減の「4 名」に、収容定員を「364 名」から 252 名減の「112 名」とする。
- ③ 心理学科を新設し、入学定員を「55 名」、編入学定員を「4 名」、収容定員を「232 名」とする。
- ④ 以上の結果、本学文学部全体の入学定員を「450 名」から 15 名増の「465 名」に、収容定員を「1,890 名」から 60 名増の「1,950 名」とする。

なお、③の心理学科の新設については、別途学科新設の手続を行う。

また、①～④の変更を表で示すと、以下の通りである。

現行				学則変更後			
学科名等	入学定員	編入学定員	収容定員	学科名等	入学定員	編入学定員	収容定員
教育学科 初等教育学専攻	20	—	80	教育学科 初等教育学専攻	40	—	160
教育学科 教育・心理学専攻(教育学コース)	85	8	364	教育学科 教育学専攻	25	4	112
教育学科 教育・心理学専攻(心理学コース)				心理学科 (平成 25 年 6 月届出)	55	4	232
文学部合計※ 1	450	30	1890	文学部合計※ 2	465	30	1950

※ 1 英語英文学科、日本語日本文学科、歴史社会学科(平成 26 年度より学生募集停止予定)、哲学科を含む。

※ 2 英語英文学科、日本語日本文学科、史学科(新設、平成 25 年 6 月届出)、人間関係学科(新設、平成 25 年 6 月届出)、国際交流学科(新設、平成 25 年 6 月届出)、哲学科を含む。

(2) 学則変更(収容定員変更)の必要性

ア 入学定員設定の考え方とその根拠となる学生確保の見通し

本学では現在、1年次生は全員が基礎課程に所属し、2年次以降、専攻課程の5学科9専攻に進学する教育課程をとっており、学則変更後もこの教育課程は維持する。このため、入学試験は各学科専攻別に行わず、文学部としての一括募集を行っている。

そこで、まず大学全体の入学定員に対する学生確保の見通しについて、資料1「平成21～25年度入試状況」を参照しながら述べる。この表から明らかのように、本学の志願者総数は、平成23年度入試を底として、この3年間は微増傾向にあるものの、依然として厳しい状況が続いているといわざるを得ない。しかし学力試験を課す一般入試全体の倍率は2.4倍前後を堅持しており、一般入試の中でもっとも志願者数の多い3教科入試においても、その傾向は同様である。

これら一般入試のうち、2月中旬に行う総合小論文方式入試は、平成24年度までのプレゼンテーション方式入試のあり方を見直し、25年度から新規に採用したもので、直前のプレゼンテーション方式入試に対して、2倍以上の志願者を得ることができた。また、学生募集に大きな影響力を及ぼすオープンキャンパスについては、入試委員会での検討を重ねた結果、平成24年度から開催回数・プログラム内容ともに大幅に強化し、現在年度あたり7回10日の体制で行っている(資料2)。また、オープンキャンパスでは、参加者にアンケートを実施し、さまざまな項目ごとに、評価と改善の要望を尋ねている(資料3)。参加者の評価は大変高く(資料4)、また受付方法の改善など、アンケートに基づき、きめ細かい改善に努めている。その結果、『大学ランキング2013年版』(朝日新聞出版)によれば、オープンキャンパス参加者の入学定員を基準とした倍率は、6.67人となり、756大学中101位にランクされた(同書77頁)。

このほか、姉妹校各校(同一学校法人に属する札幌聖心女子学院高等学校(北海道)・聖心女子学院高等科(東京都)・不二聖心女子学院高等学校(静岡県)・小林聖心女子学院高等学校(兵庫県))での大学説明会や模擬授業の開催、教職員による指定校を中心とした高校訪問、在学生による出身高校訪問など、さまざまな機会を捉えて、本学の教育の特徴を高等学校の生徒や教員に説明している。前掲の『大学ランキング2013年度版』で、女子大学に対する「高校からの評価」が14位の評価を得ているのも(同書117頁)、さまざまな要因はあるだろうが、オープンキャンパスの強化や高校訪問の取組などと無関係ではないだろう。

したがって、本学としては、今回申請する初等教育学専攻の収容定員増(文学部全体として入学定員で15名、収容定員で60名の増員)を含めても、オープンキャンパスをはじめとする学生募集活動の強化を続けることによって、一般入試における倍率2倍以上の選抜は、充分行えると考えられる。

次に、初等教育学専攻の定員増加に対する学生確保の見通しについて述べる。前述したように、本学では、すべての入学試験で文学部としての一括募集を行い、1年次生は全員が基礎課程に所属して、2年次以降、専攻課程の各学科に進学、所属する教育課程をとってい

る。したがって、学生募集の時点で、初等教育学専攻を希望する志願者数、入学者数の動向を正確に把握するのは難しいが、これについて参考となるのが「新入学生アンケート」の結果(資料 5)である。このアンケートは、毎年 5 月上旬に新 1 年次生全員を対象に実施し、大学公式 HP に公開しているものである <http://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/gakusoku.html>、TOP >情報公開 (E)その他)。回収率は年度によって違いがあるが、概ね 60%強となっており、その学年のさまざまな動向を把握するには、ほぼ十分な回収率といえる。

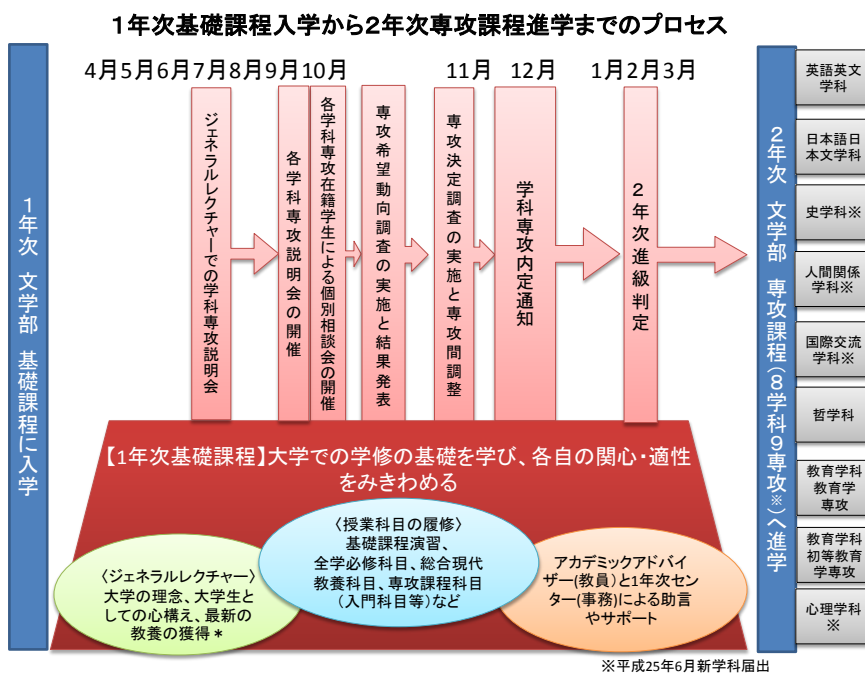
そのなかに、「Q9.あなたは本学の受験を考えたとき、希望の学科専攻は決まっていたか」という、受験時における志望学科についての設問がある。この設問に対して、「1.決まっていた」「2.なんとなく決まっていた」という回答は、「決まっていた」という程度や内実に大きな差はあるかもしれないが、例年 80%を超えている。ともあれ、このようにある程度志望する学科を決めて本学を受験し、入学した 1 年次生のうち、初等教育学専攻を希望していた者は、平成 20・21 年度はやや少なめであるが、最近 3 年間では、50 名前後となっている。回収率が 60~80%ほどであることを考慮すれば、1 年次生全体では、もう少し増加することは間違いない。この数値は、文学部としての一括募集という形を維持しつつ、初等教育学専攻の入学定員を 20 名から 40 名に増員しても、十分に学生の確保が行えることを示していると考えられる。

さらに、基礎課程の 1 年次生が専攻課程の 2 年次以降に所属する学科専攻を決定する手続のなかでの、初等教育学専攻の志望動向についてみていく。本学では、1 年次生が学科専攻を決定する手続を、以下のように行っている。

- ① 6 月下旬または 7 月上旬：1 年次生全員を対象とした各学科専攻の全体説明会を開催
- ② 9 月下旬～10 月中旬：学科専攻決定手続についての全体説明会、各学科専攻による個別の説明会、各学科専攻在籍学生による個別相談会の開催
- ③ 10 月下旬：学科専攻希望動向調査の実施とその結果の掲示
- ④ 10 月末～11 月上旬：学科専攻決定調査票の提出とその結果の各学科への通知
- ⑤ 11 月中旬～下旬：各学科専攻間での調整を経て、学科専攻内定結果を学生に通知
- ⑥ 12 月上旬：教授会で学科専攻内定を承認
- ⑦ 翌年 2 月下旬：教授会での 2 年次への進級判定を経て、学科専攻決定結果を掲示

このような一連の手続のなかで、③は 1 年次生自身が、その年度の志望動向を把握するために行い、これをふまえて④の「学科決定調査票」では、希望する学科名だけでなく、「希望理由」「学科で学びたいこと」「現段階で考えている卒業後の進路」を記入させ、各学科での選考の基本資料としている。

下図は、以上のプロセスを、(3)で説明する基礎課程全体のなかに位置づけて示したものである。



* ジェネラルレクチャーは、主に基礎課程の1年次生を対象とする連続講演会である。講師は、学長をはじめとする本学教員だけでなく、外部からも多くの専門家を招き、本学の伝統や教育理念、大学生として社会の中で身につけ、守るべきこと、さまざまな学問分野での先端的成果などがとりあげられる。単位化されたものではなく、出席も任意であるが、例年1年次生の出席率は70%ほどあり、大きな教育的効果を挙げている。

資料6は、過去5年間の、上記④提出時に初等教育学専攻を志望した学生数と、最終的に初等教育学専攻に進学した学生数の推移である。志望者数については、平成21・22年度は受入予定人数とほぼ一致しており、これは前掲資料5の、受験時における志望動向と同様の傾向を示している(資料6は進学年度を掲げているので、「新入学生アンケート」とは年度が1年ずれている)。しかし、平成23年度以後は、40名前後となっており、これも「新入学生アンケート」の傾向とほぼ一致するものである。いずれにしても、全体として「新入学生アンケート」に比べて、1年次秋の時点で初等教育学専攻を希望する学生が若干減少するのは、1年次後期中までの授業や、学科決定手続のなかでの各種説明会などによって、学生が自身の希望や適性を、より深く認識した結果であると考えられる。それでもなお、この3年間は、初等教育学専攻希望者数が40名前後で推移しており、40名の入学定員を設定しても、学生確保は充分に行えると考えられる。

イ 卒業後の進路と養成する人材を受け入れる側の需要

聖心女子大学文学部教育学科初等教育学専攻では、人間の全生涯の基礎を築く初等教育

の現場で、「いのち」と「心」を大切に育む力量と、社会に対する責任感を持ち、子どもたちの成長をともに喜び合うことのできる教員の育成を目指している。そのため、専攻内は「小学校コース」と「幼稚園コース」とに分かれ、それぞれ小学校教諭と幼稚園教諭の一種免許状の取得が卒業要件となっている。また、希望すれば両方の免許を取得することも可能なカリキュラムを編成している。したがって本専攻の卒業後の進路とは、小学校教諭・幼稚園教諭にはほぼ絞られることになる。

そこでまず、全国と本学の所在地である東京都における小学校教諭・幼稚園教諭の近年の採用状況についてみていくことにする。資料 7 は、過去 5 年間の全国公立小学校教諭の採用状況、東京都の公立小学校教諭の採用状況、東京都 23 区の公立幼稚園教諭の採用状況である。小学校教諭については、全国的には平成 20～23 年度はほぼ横ばいだが、24 年度は前年度に比べて 5.5%の増加となり、そのうち女性の採用人数は 5.7%増と、全体の増加率をやや上回った。都道府県別にみると、本学の所在する東京都はいうまでもなく全国でもっとも採用数が多いが、平成 24 年度は前年度比 18.6%と、全国に比べてかなり増加の幅が大きい。また、「平成 22 年度学校教員統計調査」(文部科学省

http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kyouin/kekka/k_detail/1319073.htm)

の本報告では、「今後 10 年間で関東地方で 39,028 名が定年に達すると見込まれる」との指摘があり、平成 23 年 4 月施行の「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」では、1 学級の規模を 40 人から 35 人へと変更している。したがって、公立の小学校教諭については、近年その人材需要の状況は安定しているとみてよい。一方、本学で学生の進路・就職支援を担当するキャリアセンター宛に送付される求人票については、平成 24 年度は公立小学校 5 件、私立小学校 15 件の計 20 件、平成 25 年度は公立小学校 10 件、私立小学校 10 件の計 20 件となっている。これらは教育委員会や学校法人を単位とした件数であり、募集人数については「若干名」などとする場合もあって明確ではないが、本学では私立学校から毎年一定数の求人があるのが特徴といえる。

次に幼稚園教諭であるが、資料 7 の東京都特別区(23 区)の公立幼稚園教諭の採用数は、総数そのものが小学校に比べてはるかに少なく、また年度によって増減が大きい。しかし、少なくとも年々減少しているというような傾向はない。また本学キャリアセンター宛に届く求人票の件数は、平成 24 年度は公立幼稚園 2 件、私立幼稚園 128 件、平成 25 年度は公立幼稚園 2 件、私立幼稚園 140 件となっており、とくに私立幼稚園については例年数多くの求人がある。

以上のように、小学校・幼稚園ともに近年の人材需要の動向は安定的であり、かつ本学に向けた求人状況も、とりわけ私立幼稚園については良好であるといつてよい。それでは実際の就職状況はどうなっているのだろうか。

資料 8 は、平成 20～24 年度の、本学初等教育学専攻卒業生数と、その就職状況(就職年次は卒業の次年度となる)を示したものである。平成 24 年度は、例年に比べてやや低い数字となったが、近年の小学校教諭・幼稚園教諭いずれかに就職する者は、卒業生数の約 70%

を占めている。

さらにこれを、多数の小学校教諭・幼稚園教諭採用者を出している他大学と比較する。資料 9+は、『大学ランキング 2013 年度版』（朝日新聞出版）によって、小学校教諭・幼稚園教諭採用者を多数出している上位 10 大学(小学校教諭については私立大学のみを抽出)の、関係学科の入学定員に対する比率を出したものである。ここでいう関係学科とは、小学校教諭・幼稚園教諭の免許状取得者を数多く出していると思われる学科という意味で、卒業要件との関係などについては未確認であることをあらかじめお断りしておく。小学校教諭については、入学定員に対して 70%前後という高い採用率をあげている大学もあり、最近 5 年間の平均で 40%弱という本学の採用率はトップクラスとはいえないが、上位 10 大学のなかに置くと、6 位と 7 位の間に位置しており、高い水準にあることは明らかである。一方、幼稚園教諭については、本学の場合最近 5 年間の平均で 43%の採用率をあげているが、これを上位 10 大学のなかに置くと、1 位と 2 位の間に位置しており、トップクラスの採用率とあってよい。

以上のように、本学の初等教育学専攻は、これまで社会の人材需要に充分応えてきたといえることができる。その理由のひとつとしては、入学定員 20 名という小規模な組織でのきめ細かな指導が徹底している点を挙げることができる。したがって、入学定員を 40 名とした場合、当然従来行ってきたきめ細かな指導の維持、充実が課題となるが、これについては、次項で述べるように、少人数クラスの維持、専任教員の増員(予定)によって、充分可能であると考えられる。

(3) 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

まず、現在の初等教育学専攻の教育課程の概要を説明する。初等教育学専攻の卒業要件は、以下の通りであり、これに加えて、(2) イに記したように、小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状の取得が必要となる。

分野	系列(科目群)	単位数
全学必修分野	キリスト教学Ⅰ	4
	キリスト教学Ⅱ	4
	第一外国語	8
	第二外国語	8
	体育運動学	2
専攻分野	専攻科目	84
関連分野	総合現代教養科目	14
	基礎課程科目	
	専攻科目 他	
卒業論文		8
計		132

次に、上記卒業要件中に記された各科目区分の内容と設定の趣旨について説明する。

5つの系列から構成される「全学必修分野」は、全学生が本学の教育理念を理解し、在学中および卒業後を通じて身につけるべき教養の基礎を修得させるものである。

「キリスト教学」は、本学の教育の基盤であるキリスト教の価値観について、多面的・多角的な視点で学ぶものである。このうち1・2年次に配当される「キリスト教学Ⅰ」は、おもにキリスト教の教えと聖書全体の理解をめざし、3・4年次に配当される「キリスト教学Ⅱ」は、キリスト教をめぐる文化、社会、歴史、思想等の多様なテーマを掘り下げる。これらを通じて、キリスト教の価値観に基づき、世界と人間に対する深い洞察力と心の豊かさを涵養する。

「第一外国語」「第二外国語」は、国際化の時代にふさわしい語学力、コミュニケーション能力を身につけるために置かれる。同時に、その修得によって、諸外国の文化的背景を学び、国際的視野を広げ、また専攻課程での学修研究活動の基礎を身につけることも目的とする。「第一外国語」(英語)、「第二外国語」(フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・韓国語から選択、外国人留学生は日本語を選択)ともに、1・2年次に配当され、「読む」「書く」「聞く」「話す」力が段階的かつバランスよく身につくように、授業科目を設定する。

「体育運動学」は1年次に配当され、健康の科学や運動文化への理解を深め、適切な運動習慣を身につけ、生涯にわたる健康保持のための基盤を作ることを目的とする。

「専攻分野」の系列「専攻科目」は、2年次以降の専攻課程の所属学科専攻が開講する科目である。初等教育学専攻については、小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状の取得という本専攻の目的に沿ってカリキュラムが編成されている。

「関連分野」はおもに次の3つの系列から構成される。

「総合現代教養科目」は、地球規模で人々が考え、行動し、交流することが求められる現代において、世界の多様な社会と文化を理解し、時代を見通し、その中で自身の生き方を考えていくことのできる、幅広い知識と教養を獲得することを目的とする。

「基礎課程科目」は、基礎課程、すなわち1年次生のみを対象とする科目で、「基礎課程演習」と、各学科による入門的講義からなる。前者は、大学での学修・研究活動に求められる主体的な姿勢・意欲や積極性を身につけることを目的とし、大学で学修を進めるための基盤として、「文章等による表現力」「発表の力」「情報収集の力」を高めることに主眼を置く。1クラス約20名の演習形式で授業が行われ、担当教員は同時に履修学生の「アカデミックアドバイザー」として、大学での学修方法や進路決定についてのアドバイスを行う。

「関連分野」の系列「専攻科目」は、学生が2年次以降に所属する学科を除く7学科が開設する専門科目である。本学では演習・実習科目以外の大半の講義科目が、他学科所属学生にも開かれており、これらの科目の履修を通じて、自らが専攻する分野以外の専門的な知識・教養の獲得も可能とする。

以上のような、全学的な卒業要件と、初等教育学専攻の目的である小学校教諭一種免許状または幼稚園教諭一種免許状の取得とを含めて、「小学校コース」と「幼稚園コース」それぞれについての標準的なカリキュラム(履修モデル)を表示すると、資料 10-1・10-2 のようになる。この表によって明らかなように、初等教育学専攻の「専攻分野」は、教職課程にとって必要な「教職に関する科目」と「教科に関する科目」、及び最終的には卒業論文の執筆につなげていく演習科目からなっている。このうち、演習科目はもとより、「教職に関する科目」と「教科に関する科目」においても、教育的効果をあげるために、大人数による講義を極力回避し、一定数以上の履修者が予想される場合には、同一授業科目を複数クラス開講して、授業に学生が主体的に参加できるよう配慮している。

以上、初等教育学専攻の教育課程について説明してきたが、今回の学則変更(収容定員変更)後も、この教育課程については基本的に変更を加えない。もちろん収容定員の増員によって、上記の少人数クラスの維持については、配当年次を工夫したり、年次ごとのきめ細かい履修指導を行ったりすることなど、一層の配慮が必要となる。しかし一方で、平成 26 年度から初等教育学専攻の専任教員を 2 名増員する予定であり、これまで非常勤教員に依存していた授業科目のうち、かなりの部分を専任教員の担当に置き換えることとなる。ちなみに教育組織変更の前後で、教育学科の収容定員(1 頁表参照)と専任教員数との関係と比較すると、変更前の教育学科(教育・心理学専攻と初等教育学専攻)は、収容定員 444 名に対して専任教員 17 名、専任教員 1 人あたりの学生数は 26.1 名であるのに対して、変更後の教育学科(教育学専攻と初等教育学専攻)は、収容定員 272 名に対して専任教員 12 名、専任教員 1 人あたりの学生数は 22.7 名となり、専任教員 1 人あたりの学生数は、初等教育学専攻の増員にもかかわらず、むしろ若干減少する。これによって、従来からの教育課程の内容と質を維持するだけでなく、授業時間外での個別指導等を一層充実させるなど、よりきめ細かな指導を行うことが可能になると考える。

(設置の趣旨 添付資料一覧)

- 資料 1 平成 21~25 年度各入試の志願者・合格者・入学者の推移
- 資料 2 受験生のための大学公開日程
- 資料 3 **Open Campus** ご意見／ご感想
- 資料 4 2012 年度オープンキャンパスの参加人数と参加者の評価
- 資料 5 過去 5 年間の聖心女子大学新入学生アンケート結果
- 資料 6 過去 5 年間の初等教育学専攻の志望者数（2 年次進学時点）の推移
- 資料 7 平成 20~24 年度の公立小学校・幼稚園採用状況の推移
- 資料 8 平成 20~24 年度の初等教育学専攻卒業生の就職状況
- 資料 9 小学校・幼稚園教諭採用数の多い大学との採用率の比較
- 資料 10-1 初等教育学専攻（小学校コース）の標準的カリキュラム
- 資料 10-2 初等教育学専攻（幼稚園コース）の標準的カリキュラム

平成21～25年度の各入試の志願者・合格者・入学者の推移

入試種別		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	倍率の平均
一般入試 (3教科方式)	志願者	1087	1036	786	862	878	4649
	合格者	425	406	358	389	372	1950
	倍率	2.6	2.6	2.2	2.2	2.4	2.4
	入学者	129	109	115	118	84	
一般入試 (総合小論文方式*)	志願者	104	78	51	48	111	392
	合格者	20	17	12	10	31	90
	倍率	5.2	4.6	4.3	4.8	3.6	4.4
	入学者	18	16	11	10	25	
アドミッションズ・ オフィス入試	志願者	175	152	129	134	114	704
	合格者	79	78	72	66	68	363
	倍率	2.2	1.9	1.8	2	1.7	1.9
	入学者	79	78	71	66	68	
一般入試小計	志願者	1366	1266	966	1044	1103	5745
	合格者	524	501	442	465	471	2403
	倍率	2.6	2.5	2.2	2.2	2.3	2.4
	入学者	226	203	197	194	177	
姉妹校推薦	志願者	146	154	153	138	165	
	合格者	146	154	153	138	165	
	入学者	146	154	153	138	165	
指定校推薦	志願者	163	167	166	167	167	
	合格者	163	167	166	167	167	
	入学者	163	167	166	167	167	
留学生入試	志願者	12	8	11	10	11	
	合格者	10	5	8	6	8	
	入学者	10	4	6	5	6	
帰国子女入試	志願者	62	51	64	57	50	
	合格者	38	38	34	33	28	
	入学者	7	7	8	8	8	
計	志願者	1749	1646	1360	1416	1495	
	合格者	881	865	803	809	838	
	入学者	552	535	530	512	523	

* 平成24年度までは「プレゼンテーション方式」で実施。

□受験生のための大学公開日程

日程	開始時間	学内進学相談会
2013年 3月24日(日)	13:00~17:00	オープンキャンパス 「親子で考える私の未来」
6月9日(日)	13:00~17:00	オープンキャンパス 「アドミッションズ・オフィス入試徹底解説/ 指定校推薦入学のご紹介」
7月7日(日)	13:00~17:00	オープンキャンパス 「アドミッションズ・オフィス入試徹底解説/ 指定校推薦入学のご紹介」
7月27日(土)	13:00~17:00	オープンキャンパス 「聖心の奥行きを知る」
7月28日(日)	13:00~17:00	オープンキャンパス 「聖心の奥行きを知る」
8月17日(土)	13:00~17:00	オープンキャンパス 「聖心の学びを知る」
8月18日(日)	13:00~17:00	オープンキャンパス 「聖心の学びを知る」
10月19日(土) 10月20日(日)	13:00~16:00	聖心祭+同時開催 オープンキャンパス
12月14日(土)	15:00~18:00	クリスマス オープンキャンパス
2014年 3月23日(日)	13:00~17:00	オープンキャンパス(予定)



OpenCampusご意見/ご感想

Q1.本日の催しを総合的に採点すると?(必須)

- 100点満点 90点
 80点 70点
 60点 50点以下

Q2.AO入試・推薦入学の入試説明会は?

- 100点満点 90点
 80点 70点
 60点 50点以下

Q3.面接室見学・面接室での個別相談は?

- 100点満点 90点
 80点 70点
 60点 50点以下

Q4.キャンパスツアーは?

- 100点満点 90点
 80点 70点
 60点 50点以下

Q5.在学生との懇談や在学生の雰囲気は?

- 100点満点 90点
 80点 70点
 60点 50点以下

Q6.100点満点でない方

→どうしたら100点になるでしょうか?

Q6.100点満点の方

→どこが良かったでしょうか?

(必須)率直な意見/感想/要望等をお聞かせ下さい

※絵文字は入力しないで下さい

[送信]

Copyright(c), University of the Sacred Heart, Tokyo All rights reserved.

2012年度オープンキャンパスの参加人数と参加者の評価

	参加人数	①総合評価	②在学生の対応
3/25	434	96.7	97.3
6/17	407	95.6	96.8
7/15	585	95.2	97.1
7/28・29	793	91.9	95.4
8/18・19	920	92.8	96.0
10/20・21	476	—	—
12/15	487	95.4	95.7
計・平均	4102	94.6	96.4

①本日の催しを総合的に採点すると？(100点満点 90点 80点
70点
60点 50点以下)

②在学生との懇談や在学生の雰囲気は？(100点満点 90点 80
点 70点 60点 50点以下)

http://www.u-sacred-heart.ac.jp/topics_examinee/2012.html

TOP>受験生のみなさんへ>受験生のみなさんへの最新情報>
2012年度

過去5年間の聖心女子大学新入学生アンケート結果

	回答数	回答率 (%)	Q9-1.人数	Q9-1.%	Q9-2.人数	Q9-2.%	Q10. 初等教育学 専攻の希望 者数	Q10. 人数/Q9. 1+2の人数
平成20年度	311	55.2	118	37.9	139	44.7	31	12.1
平成21年度	257	46.6	90	35.0	131	51.0	23	10.4
平成22年度	368	68.8	135	36.7	170	46.2	49	16.1
平成23年度	318	60.0	118	37.1	164	51.6	49	17.4
平成24年度	411	80.3	154	37.5	209	50.9	56	15.4

Q9.あなたは本学の受験を考えたとき、希望の学科専攻は決まっていたか。

- 1.決まっていた 2.なんとなく決まっていた

Q10.Q9で1か2と答えた方、その際の学科専攻はどれですか。

資料6

過去5年間の初等教育学専攻の志望者数(2年次進学時点)の推移

	受入予定数a	志望者数b	b/a(%)	進学者数
平成21年度	24	23	95.8	23
平成22年度	25	25	100.0	25
平成23年度	24	40	166.7	24
平成24年度	24	43	179.2	24
平成25年度	24	37	154.2	25
5年間計	121	168	138.8	121

平成20～24年度の公立小学校・幼稚園採用状況の推移

種別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
A全国公立小学校	12372	12437	12284	12883	13598
B全国公立小学校(うち女性)	7879	7932	7762	8102	8561
C東京都公立小学校	1404	1586	1628	1590	1885
D東京都特別区立幼稚園	67	58	26	37	54

* A・B・Cは、文部科学省「平成20～24年度、公立学校教員採用選考試験の実施状況について」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1217797.htm,[1287745.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1287745.htm),[1300242.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1300242.htm),
[1314470.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1314470.htm),[1329248.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/senkou/1329248.htm)

* * * Dは東京都特別区人事委員会「幼稚園教員採用候補者選考実施結果」
http://www.tokyo23city.or.jp/kinder_pdf/youchien_saiyou.pdf

平成20～24年度の初等教育学専攻卒業生の就職状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	計
卒業生数	23	23	26	22	25	119
小学校・幼稚園計	16	16	20	15	15	82
卒業生数に対する割合	69.6	69.6	76.9	68.2	60.0	68.9
小学校教諭	9	8	10	7	5	39
幼稚園教諭	7	8	10	8	10	43

小学校・幼稚園教諭の採用数が多い大学(『大学ランキング2013年度版』朝日新聞出版)
との採用率の比較

小学校教諭(私立大学)	A採用数	B入学定員	A/B
文教大学	260	330	78.8
岐阜聖徳学園大学	208	300	69.3
武庫川女子大学	148	225	65.8
玉川大学	112	240	46.7
京都女子大学	107	290	36.9
佛教大学	106	190	55.8
聖徳大学	90	510	17.6
皇學館大学	85	210	40.5
鎌倉女子大学	82	220	37.3
明星大学	82	320	25.6
聖心女子大学(平成20～24年度)			39.0

幼稚園教諭	A採用数	B入学定員	A/B
聖徳大学	113	510	22.2
鎌倉女子大学	92	220	41.8
東京家政大学	72	295	24.4
十文字学園女子大学	68	200	34.0
玉川大学	56	240	23.3
ノートルダム清心女子大学	56	120	46.7
武庫川女子大学	56	225	24.9
大阪樟蔭女子大学	52	150	34.7
京都女子大学	51	290	17.6
中村学園大学	48	220	21.8
聖心女子大学(平成20～24年度)			43.0

初等教育学専攻(小学校コース)の標準的カリキュラム

履修年次		専攻分野			関連分野	全学必修分野	
年次	時期	教職に関する科目	教科に関する科目	演習等			
1年次	前期				「憲法1」(2)、 「基礎課程演習」(2)	「1年英語」(2)、 「1年第二外国語」(3)、 「体育運動学」(1)	
	後期						
2年次	前期	「教職入門」(2)、 「教育学概論」(2)、 「国語科教育法(小学校)」(2)、 「教育哲学2」(2)	「国語概論(含書写)」(2)、 「音楽概論1」(2)、 「理科概論」(2)	「教育情報基礎演習1」 (2)、 「教育学演習1」(2)	総合現代教養科目・所属 専攻外の専攻科目から 12単位以上	「2年英語」(2)、 「2年第二外国語」(1)	「キリスト教学Ⅰ」(4)
	後期	「教育学概論」(2)、 「教育行政学2」(2)、 「社会科教育法(小学校)」(2)、 「生活科教育法」(2)、 「音楽科教育法」(2)、 「教育課程方法論」(2)	「造形概論」(2)、 「家政学概論」(2)	「教育情報基礎演習2」 (2)、 「教育学演習1」(2)			
3年次	前期	「教育心理学」(2)、 「家庭科教育法」(2)、 「体育科教育法」(2)、 「教育情報学」(2)	「社会科概論」(2)、 「生活科概論」(2)、 「数学概論」(2)	「教育学演習2」(2)			「キリスト教学Ⅱ」(4)
	後期	「特別活動」(2)、 「算数科教育法」(2)、 「理科教育法」(2)、 「図画工作科教育法」(2)、 「生徒指導(含進路指導)」(2)、 「教育実習指導2(小学校)」(1)	「体育概論」(2)	「教育学演習2」(2)			
4年次	前期	「教育相談」(2)、 「教育実習3」(2)、 「教育実習4」(2)					
	後期	「道徳教育の研究」(2)、 「教育実習指導5(小学校)」(1)、 「教職実践演習(幼稚園・小学校)」(2)		「教育学演習3」(4)、 「卒業論文」(8)			

* 科目名の後ろの()は単位数。

** 下線を引いた科目は、「教育職員免許法施行規則」第六十六条の六に関する科目。

初等教育学専攻(幼稚園コース)の標準的カリキュラム

履修年次		専攻分野			関連分野	全学必修分野			
年次	時期	教職に関する科目	教科に関する科目	演習等					
1年次	前期				総合現代教養科目・所属専攻外の専攻科目から12単位以上	「1年英語」(2)、 「1年第二外国語」(3)、 「体育運動学」(1)	「キリスト教学Ⅰ」(4)		
	後期					「1年英語」(2)、 「1年第二外国語」(3)、 「体育運動学」(1)			
2年次	前期	「幼児教育原論」(2)、 「教育学概論」(2)、 「保育内容研究(健康)」(2)、 「保育内容研究(表現)1」(2)、 「保育方法論1」(2)	「国語概論(含書写)」(2)	「教育情報基礎演習1」(2)、 「教育学演習1」(2)				「2年英語」(2)、 「2年第二外国語」(1)	
	後期	「教育学概論」(2)、 「幼児教育課程論」(2)、 「保育方法論2」(2)、 「教職入門」(2)	「生活科概論」(2)、 「体育概論」(2)	「教育情報基礎演習2」(2)、 「教育学演習1」(2)				「2年英語」(2)、 「2年第二外国語」(1)	
3年次	前期	「教育心理学」(2)、 「幼児理解(含教育相談)」(2)、 「保育内容研究(人間関係)」(2)、 「保育内容研究(言葉)」(2)、 「保育内容研究(表現)2」(2)	「数学概論」(2)、 「音楽概論2」(2)	「教育学演習2」(2)					「キリスト教学Ⅱ」(4)
	後期	「教育行政学2」(2)、 「保育内容研究(環境)」(2)、 「教育実習指導3(幼稚園)」(1)、 「西洋教育運動史」(2)	「造形概論」(2)	「教育学演習2」(2)					
4年次	前期	「教育相談」(2)、 「教育実習3」(2)、 「教育実習4」(2)		「教育学演習3」(4)、 「卒業論文」(8)					
	後期	「教育実習指導6(幼稚園)」(1)、 「教職実践演習(幼稚園・小学校)」(2)							

* 科目名の後ろの()は単位数。

** 下線を引いた科目は、「教育職員免許法施行規則」第六十六条の六に関する科目。

教 員 名 簿						
学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月 >	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千 円)	現職 (就任年月)
-	学長	カサキ ヨシ 岡崎 淑子 <平成26年4月>		Ph.D. in Ethnomusicology (米国)		聖心女子大学文学部 学長 (平成23年10月)